

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・P.1
 - ① 学生の確保の見通し・・・・・・・・・・P.1
 - ② 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・P.5

- (2) 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・P.7
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・P.7
 - ② 上記①が社会的，地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・・・・・・・・P.8
 - ③ 採用ニーズ調査・・・・・・・・・・P.9

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1. 定員設定の考え方

植草学園大学保健医療学部は、現行の理学療法学科を改組し、平成 32 年度からリハビリテーション学科理学療法専攻と作業療法学専攻の 2 専攻体制とする。

理学療法専攻の入学定員は、現行の理学療法学科の入学定員 40 名を変更しない。40 名の定員は「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」に則ったものである。

新設する作業療法学専攻については、指定規則に則り入学定員を 40 名に設定した。千葉県内の作業療法士養成大学の定員をみると、国際医療福祉大学成田保健医療学部作業療法学科は 40 名、帝京平成大学健康医療スポーツ学部作業療法学科は 40 名である。また、東北・関東信越地区の作業療法士養成大学 30 校の入学定員も 30 名が 2 校で、50 名以上が 3 校、40 名が 18 校ある。近隣の他大学の状況(表 1 参照)、質問紙によるニーズ調査結果及び教育効果を考慮し、定員を 40 名に設定した。

また、平成 32 年度から「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」が一部改正され、専任教員の要件、臨床実習の拡充、教育内容等が変更されるが、両専攻ともそれぞれ 40 名の定員で対応可能である。

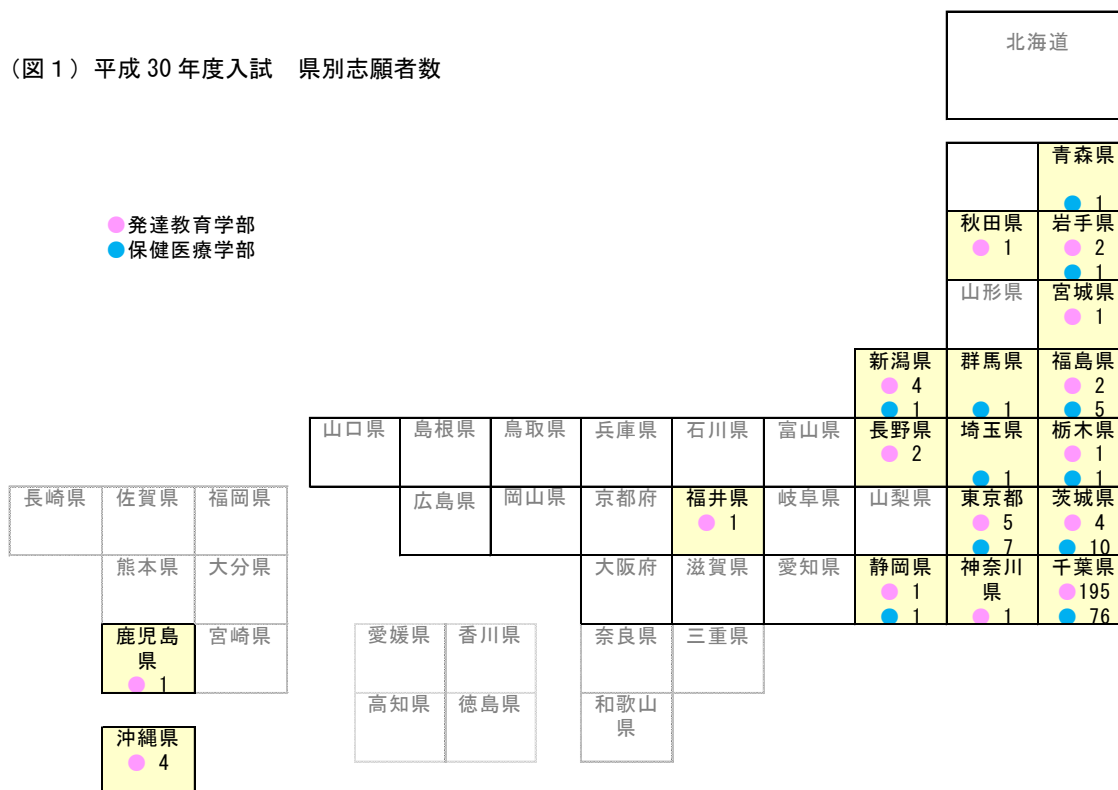
(表 1) 千葉県内の養成施設(大学)の定員

理学療法士養成校			作業療法士養成校		
養成校名 (開設年)	定員	所在地	養成校名 (開設年)	定員	所在地
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部理学療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	80	市原市 うるいど	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科 2008年 *2012年3月1期生卒業	40	市原市 うるいど
了徳寺大学 健康科学部理学療法学科 2006年 *2011年3月1期生卒業	80	浦安市 明海	国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	40	成田市
国際医療福祉大学 成田保健医療学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	80	成田市			
城西国際大学 福祉総合学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期生卒業	80	東金市			

2. 学生確保の見通し

平成 30 年度の本学全体（発達教育学部と保健医療学部）の受験数 330 人中、千葉県内出身者は 271 人（82%）である。保健医療学部理学療法学科についても、105 人中千葉県内出身者は 75 人（72.3%）と県内出身者の割合が高い。このことから、千葉県及び近隣の都県を中心に、学生確保の見通しを立てた。（図 1 参照）

（図 1）平成 30 年度入試 県別志願者数



〈人材養成の社会的必要性〉

四病院協議会が平成 28 年に調査した結果（資料 1 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査）では、全国の病院において理学療法士数は 89.6%と基準上充足しているが、採算上は 60.4%、運営上は 45.6%と充足率が減少している。病院以外の老人保健施設、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどの需要を含めると今後も理学療法士の求人が見込まれる。作業療法士の充足率においても、基準上 90.6%、採算上は 59.0%、運営上は 42.9%と減少している。作業療法士については、養成施設及び卒業生が少ないために理学療法士以上に需要が見込まれている。

厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第 2 回 理学療法士・作業療法士需給分科会」の報告によると、千葉県の人口 10 万人当たりの理学療法士・作業療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっている。特に作業療法士数は、約 30 人と全国ワースト 5 位である。（資料 2 人口 10 万人あたりの理学療法士・作業療法

士数（平成 26 年度）したがって、千葉県保健医療計画では、地域リハビリテーション支援体制の整備、総合リハビリテーションセンター機能の確保、高次脳機能障害支援体制の整備を重点項目に挙げており、リハビリテーションスタッフを含む医療従事者の安定した確保と定着化を目指している。人材養成の社会的必要性はますます大きくなっている。

〈他大学の志願者数等〉

千葉県及び東京都にある理学療法士、作業療法士養成課程のある 5 私立大学の志願者数は(表 2)の通りであり、理学療法士、作業療法士の志願者数は入学定員を大きく上回っており、進学ニーズがある。

(表 2) 平成 30 年度 近隣大学における関連学科の志願者数

	養成校名	学部	学科	専攻	定員	志願者数	所在地
千葉	帝京平成大学□	健康医療スポーツ学部	作業療法学科		40	127	市原市 うるいど
			理学療法学科		80	367	
	国際医療福祉大学	成田保健医療学部	作業療法学科		40	169	成田市
			理学療法学科		80	457	
東京	杏林大学□	保健学部	作業療法学科		54	352	三鷹市
			理学療法学科		40	1017	八王子市
	東京工科大学□	医療保健学部	作業療法学科		40	599	大田区 蒲田
			理学療法学科		80	1175	
	東京医療学院大学□	保健医療学部	リハビリテーション学科	作業療法専攻	30	65	多摩市
			リハビリテーション学科	理学療法専攻	70	217	

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員増となる新設の作業療法学専攻については、設置構想を検討するにあたり、第三者機関によるニーズ調査を実施した。

【第三者機関による外部調査結果の概要】

- ①調査目的：新設のリハビリテーション学科作業療法学専攻の学生確保の見通しを、外部の公正な第三者機関によるアンケートを用いて図ることを目的とした。
 - ②調査期間：平成 30 年 7 月～9 月
 - ③調査対象：千葉県全域の高校 190 校に通う高校 2 年生（内実施校 40 校）
 - ④有効件数：6,719 件
 - ⑤有効件数率：99.97%
 - ⑥調査実施機関：株式会社高等教育総合研究所
 - ⑦実施校数：アンケート実施校数は（表 3）の通りである。
- （資料 3 高校生アンケート調査報告書）

(表 3) アンケート実施校

所在地	設置者	高校数	割合
千葉県	県立	21	52.5%
	私立	17	42.5%
	市立	2	5.0%
	合計	40	100.0%

⑧回答者の男女比：男性 46.5%，女性 53.5%とほぼ半々であるが、やや女性が多い。

⑨回答者の卒業後の希望進路：回答者の約 67%が大学進学を希望している。(表 4 参照)

(表 4) 卒業後の希望進路

選 択 項 目	回答数	構成比
大学	4,496	66.9%
短期大学	570	8.5%
専門学校	1,775	26.4%
就職	872	13.0%
その他	141	2.1%
無回答		0.3%

⑩本学リハビリテーション学科作業療法学専攻への 進学希望者は、「合格した場合入学したい」との回答数は 100 名、「併願の結果によっては入学したい」が、183 名であった。(表 5 参照) これは入学定員の 40 名を大きく上回る希望者数であり、定員は十分に確保できると判断した。

(表 5) 居住地別入学意欲集計表

選択項目		入学したい		併願先の結果によっては入学したい		合計	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	千葉県	99	99.0%	178	97.3%	277	97.9%
2	茨城県	0	0.0%	4	2.2%	4	1.4%
3	埼玉県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	東京都	1	1.0%	1	0.5%	2	0.7%
5	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		100	100.0%	183	100.0%	283	100.0%

⑪本学を受験したい理由について

本学を受験したい理由は「資格取得（作業療法士）」が 35.6 %と高い。さらに、「本学の教育内容に興味・関心がある。」32.2%、「障害のある人の役に立ちたいから」が、

23.8%と高い割合にある。(表6参照)

新設するリハビリテーション学科の教育目的は、本学の教育理念に基づき、共生社会を意識し、その実現に向けて寄与する力を持つ理学療法士、作業療法士を養成することである。このことに受験希望理由があることは、本学がリハビリテーション学科を新設する妥当性があり、志願者を確保できるといえる。

(表6) 受験したい理由

	選択項目	回答数	構成比
1	希望する資格(作業療法士)が取得できるから	106	35.6%
2	障害のある人の役に立ちたいから	71	23.8%
3	教育内容に興味・関心があるから	96	32.2%
4	リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから	75	25.2%
5	養成する人材像や特色に共感できるから	21	7.0%
6	リハビリロボットに興味があるから	14	4.7%
7	植草学園大に良好なイメージを持っているから	31	10.4%
8	自宅からの通学が便利だから	16	5.4%
9	音楽療法士の資格がとれるから	19	6.4%
10	おもちゃインストラクターの資格がとれるから	16	5.4%
11	その他	4	1.3%
	無回答	7	2.3%

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

既設学部の広報活動に加え、新設予定のリハビリテーション学科について広く周知し、学生確保に向け広報活動を展開する予定である。

その際、文部科学省の「平成31年度大学設置等に係る提出書類の作成の手引き」の「認可又は届出前のPR活動及び学生募集について」を遵守して行う。

1. 高等学校教員・進路媒体業者対象説明会

千葉県及び近隣都県の高等学校の教員及び進路媒体業者を対象とした説明会を開催する。各高等学校等における進路指導担当及び進路媒体業者に向け、本学新設のリハビリテーション学科について、教育活動、教育内容、養成する人材等を周知する。平成30年度は平成31年1月15日に本学において開催した。

2. オープンキャンパス

現理学療法学科教員及び新設の作業療法学専攻教員予定者(設置準備のため学術顧問として既に就任)によるリハビリテーション学科の紹介及び授業体験(ミニ授業)等を実施する。

平成32年度新カリキュラム用備品等を早期に準備し、改正される理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に対応したカリキュラム内容と、本学の特色を広く周知する。体験授業、建設予定のリハビリテーション学科専用棟の紹介等を積極的に行う。(資料4 オープンキャンパス日程：平成30年度、31年度)

3. 学外進路相談会

千葉県及び近隣都県で開催される進路相談会に参加し、新設リハビリテーション学科の特色等を周知する。

4. 高等学校への訪問による広報

過去に本学への入学者がいる高等学校を中心として千葉県内及び近隣都県の高等学校に直接訪問し、生徒及び教員に教育活動、施設設備環境等を周知し、リハビリテーション学科の認知度を高める。(資料5 平成28年度～平成30年度高校訪問回数)

5. 新3年生向け大学紹介冊子の配布及び進学情報誌、ホームページへの掲載

新3年生向けにリハビリテーション学科の内容や特色を紹介する冊子を作成し、ダイレクトメールを7,500冊発送する。進学情報誌へ増設企画ページにて新学科を広報する。また、ホームページへの掲載等広報活動を強化する。

6. 高大連携授業における広報

本学では現在、本学と高大連携協定を締結している高等学校(20校)を中心に、高校生が大学の授業を体験する体験授業を実施している。実際に大学生活を体験する機会を設け、本学の教育分野に直接触れ、進路選択の一助となるよう平成30年度は4回実施した。(表7及び資料6 高大連携授業)

既存の理学療法学科の授業は、毎回好評を得ている。

参加者のアンケートでは、「理学療法士がどういう活動をしているのかを具体的に知ることができた。」「理学療法士になるうえで、心がけることを学べた。」などの好意的な意見を得られた。リハビリテーション学科についても専攻別に、体験授業を複数回実施する。

(表7) 平成30年度 高大連携授業 理学療法学科授業科目 参加状況

回数	日付	科目名	参加者
第1回	6月15日	理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法 * 高大連携特別授業	7名
		運動療法学実習	7名
第2回	7月16日	運動器系疾患理学療法学実習	17名
		生理学	13名
第3回	9月24日	基礎生物学	22名
		中枢神経系理学療法	13名
第4回	2月12日	理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法 * 高大連携特別授業	2名
		スポーツ理学療法学	4名

7. 多様な入学試験

一般入試の他，AO入試，推薦入試，大学センター試験利用入試，社会人特別選抜試験，帰国生徒特別選抜試験，外国人留学生特別選抜等，多様な入学試験を実施している。（表 8 参照）

（表 8） 植草学園大学 保健医療学部理学療法学科 平成 31 年度入試方法

試験方法	募集人員	選考方法
A0入試	8名	面接(15分程度)・基礎学力試験(小論文)・書類審査
推薦入試	指定校制	6名 指定校制：面接(10分)
	公募制	公募制：面接(10分)・基礎学力試験(小論文) 評定平均値3.3以上の者
植草学園大学附属高等学校特別選抜試験	若干名	面接(10分)・書類審査
一般入試	18名	国語(近代以降の文章)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)、数学(数学Ⅰ・数学A)、理科(生物基礎)から2教科・面接(10分) (注)受験する教科は出願時に選択
大学入試センター試験利用入試	7名	国語(近代以降の文章)、数学(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会・情報)・理科(物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学)・外国語(英、独、仏)から2教科・2科目
社会人特別選抜試験	若干名	小論文・面接(10分)・書類審査

8. スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置

成績優秀者に対し，入学金や授業料を減免する制度（スカラシップ制度），震災等の被災者へ学費等納付金の減免措置等を実施し，植草学園大学で学びたい学生へのサポート体制を設けている。（資料 7 植草学園大学 スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置一覧参照）

9. 同窓会組織による広報活動

明治 37 年の創設以来 110 余年，植草学園さくら会（連合同窓会）の組織を持つ。同窓会報，毎年の学園祭への参加，総会の開催等活発な活動を展開している。

この同窓会の会報に新設学科紹介を掲載し，また発送の際，パンフレットを同封し，周知する。

（2）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

平成 24 年度，中教審の「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（答申）では少子高齢化社会等の中で，誰もが必要な医療・介護・保育等を安心して受けられる社会システムの構築と維持，そのために必要な人材の育成などの必要性が提言された。

本学においては、リハビリテーション領域を対象として、これまで身体的な自立を中心に支援を行う理学療法士の養成を行ってきた。リハビリテーションの社会的ニーズの多様性に対応するため、理学療法士に加えて、応用的作業や社会適応能力改善の任務をもつ作業療法士の養成が必要である。これにより身体的、精神的、社会的側面から自立生活の支援およびQOLの向上を支援するリハビリテーションの向上に貢献できる人材の育成の幅を広げることができる。新設する学科では、平成30年3月8日中教審「第3期教育振興基本計画について（答申）」を踏まえ、以下のような人材を養成する。

1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を持つ理学療法士・作業療法士を養成する。
2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を持つ理学療法士・作業療法士を育成する。
3. 共生社会を意識し、その実現に向けて寄与する力を持つ理学療法士・作業療法士を養成する。
4. 高度化、多様化するリハビリテーションの業務に対応可能であり、現場において医療・福祉関係職員との適切な連携がとれ、リハビリテーションに関して指導的役割を果たせる理学療法士・作業療法士を養成する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(ア) 労働需要から見た医療福祉関連業務の拡大の見通し

現在起こりつつあるAI、ロボット、IoT等の第4次産業革命は、経済社会に大きなインパクトで産業構造の変化をもたらすことが予想されている。2030年における産業別就業者数は多くの業種で縮小するが、情報通信業や医療・福祉関連の業種では拡大することが予想されている。（資料8 独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成27年労働力需給の推計」）

特に、リハビリテーションを含む医療・福祉関連の業種においては、人が直接対応することが質の向上につながる高付加で質的なサービス業であり、すべてを自動化することは不可能である。今後進む高齢化社会において、個々の障害だけでなく生活全般にわたり支援を行う理学療法士・作業療法士の役割はますます大きくなっていく。また、医療・福祉分野では高等教育修了者の割合が高く、大学におけるリハビリテーション専門家養成の必要性がある。

(イ) 千葉県における理学療法士・作業療法士の需給見通し

千葉県の75歳以上の人口は、平成27年には約70万人であったが、今後の10年間で約110万人（平成27年の約1.5倍）に増加し、その後しばらくはその人口が継続すると予想されている（資料9 千葉県保健医療計画（平成30年））。

前述のように、厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第2回 理学療法士・作業療法士需給分科会」の報告によると、千葉県の人口10万人当たりの理学療法士・作業療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっている。（資料2 人口10万人当たりの理学療法士・作業療法士数（平成26年度））特に作業療法士数は約30人

と全国ワースト5位である。

そのため、千葉県保健医療計画（平成30年度～平成35年度）では、地域リハビリテーション支援体制の整備、総合リハビリテーションセンター機能の確保、高次脳機能障害支援体制の整備を重点項目に挙げており、リハビリテーションスタッフを含む医療従事者の安定した確保と定着化を目指している。

平成30年8月時点で、千葉県内には、理学療法士を養成する4年制大学が6校、専門学校が5校ある。入学定員は合わせて、685人である。作業療法士を養成する4年制大学が3校、専門学校が3校ある。入学定員は合わせて、215人である（資料10 千葉県内理学療法士、作業療法士養成校一覧）。本学における平成29年度の理学療法士の求人数は700施設にのぼり、開学以来、新規卒業生の就職率は100%を維持している（資料11 保健医療学部就職状況）。

作業療法士については、養成施設および卒業生が少ないために理学療法士以上に需要が見込まれている。また、本学の県内就職率は75%と近隣の大学に比較して高くなっている（ちば産学官連携プラットフォーム構築会議）（資料12 千葉市内大学の地元就職率）。このことは、本学の卒業生が地域に定着していることを示すものである。したがって、本学リハビリテーション学科は地域リハビリテーションの構築に貢献できる人材養成施設と成り得る。

③ 採用ニーズ調査

前述のように、これまでの本学保健医療学部理学療法学科における卒業生の求人数は定員の20倍もあり、就職率はほぼ100%を維持している。また、千葉県の人口10万人当たりの理学療法士数は近隣の東京都、神奈川県、埼玉県とともに全国平均より低くなっているため、改組されたリハビリテーション学科理学療法専攻の卒業生の就職先は今後も確保できる見通しである。

新設の作業療法学専攻の卒業予定者に対する採用ニーズ調査を第三者機関においてアンケート調査を行った。調査の概要と調査結果（資料13 採用意向アンケート調査報告書）の要点は以下の通りである。

調査目的：平成32年4月に開設を計画している植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻に関して、医療機関・施設が期待する教育内容、採用意向等を大学が的確に把握し、今後の計画推進のための参考資料とすることを目的とした。

調査対象：千葉県を中心に茨城県、東京都、埼玉県、神奈川県に所在する医療機関・施設およびこれまでの理学療法学科の実習受け入れ先の合計693事業所を対象に、アンケート調査を実施した。

実施時期：平成30年7月から9月に実施。

調査委託先：調査の客観性を担保する観点から、第三者機関の「株式会社高等教育総合研究所」に委託した。

結果：植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻の卒業生

に対して、60件が「採用したい」、63件が「採用を検討したい」と回答し、合計で6割以上に当たる123件の医療機関・施設から採用意欲を示す結果を得た。業種別で見ると、「採用したい」「採用を検討したい」と回答したものが、病院が一番多く62件、2番目は介護老人保健施設で36件となった。

採用意欲を示した123件に採用可能人数を質問し、件数と採用人数をまとめたのが表9 採用可能人数の合計である。「採用可能であると思われる人数」に109名、「採用を検討したい」と回答した医療機関・施設が71名で、合計180名が採用可能であるとの結果が得られた。入学定員の40名を大きく上回る採用意欲が示されたことで、卒業後の進路は十分に確保できると判断した。

(表9) 採用可能人数の合計

選択項目	採用したい		採用を検討したい		回答数	合計人数
	回答数	合計人数	回答数	合計人数		
1名	16	16名	20	20名	36	36名
2名	10	20名	6	12名	16	32名
3名	10	30名	1	3名	11	33名
4名	0	0名	0	0名	0	0名
5名以上	5	25名	0	0名	0	25名
人数は未確定	18	18名	36	36名	54	54名
無回答	1	0名	0	0名	1	0名
合計	60	109名	63	71名	118	180名
※「人数は未確定」は1回答につき1人として集計した。						
※※「5名以上」は最低である5名として集計した。						

資料目次

- 資料 1 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査
- 資料 2 人口 10 万人あたりの理学療法士・作業療法士数（平成 26 年度）
- 資料 3 高校生アンケート調査報告書
- 資料 4 オープンキャンパス日程：平成 30 年度，31 年度
- 資料 5 平成 28 年度～平成 30 年度高校訪問回数
- 資料 6 高大連携授業
- 資料 7 植草学園大学 スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置一覧
- 資料 8 独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成 27 年 労働力需給の推計」
- 資料 9 千葉県保健医療計画（平成 30 年）
- 資料 10 千葉県内理学療法士，作業療法士養成校一覧
- 資料 11 保健医療学部就職状況
- 資料 12 千葉市内大学の地元就職率
- 資料 13 採用意向アンケート調査報告書

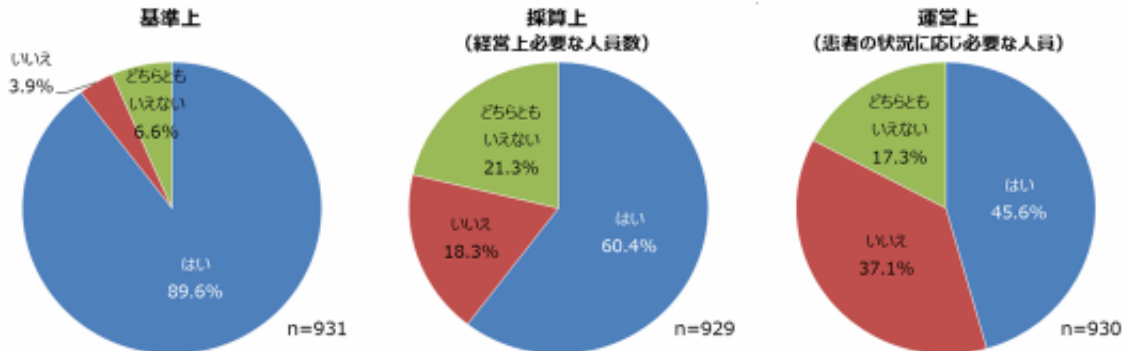
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査

2-3. 現在、貴院において数は充足していますか。

(1) 理学療法士

※1：採算上（経営上必要な人員数）
 ※2：運営上（患者の状況に応じ必要な人員）

	基準上		採算上 ※1		運営上※2	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
はい	834	89.6%	561	60.4%	424	45.6%
いいえ	36	3.9%	170	18.3%	345	37.1%
どちらともいえない	61	6.6%	198	21.3%	161	17.3%
合計	931	100.0%	929	100.0%	930	100.0%



基準上は、ほぼすべての施設が充足しているが（89.6%）、採算上充足しているについては、60.4%、運営上は、45.6%と減少し、充足していないと答えた割合が増加した。基準上の充足はしているが、経営上必要とする人員が不足し、患者に対し十分なリハビリが提供できていない施設があることがわかる。※ P.26自由記載参照

四病院団体協議会

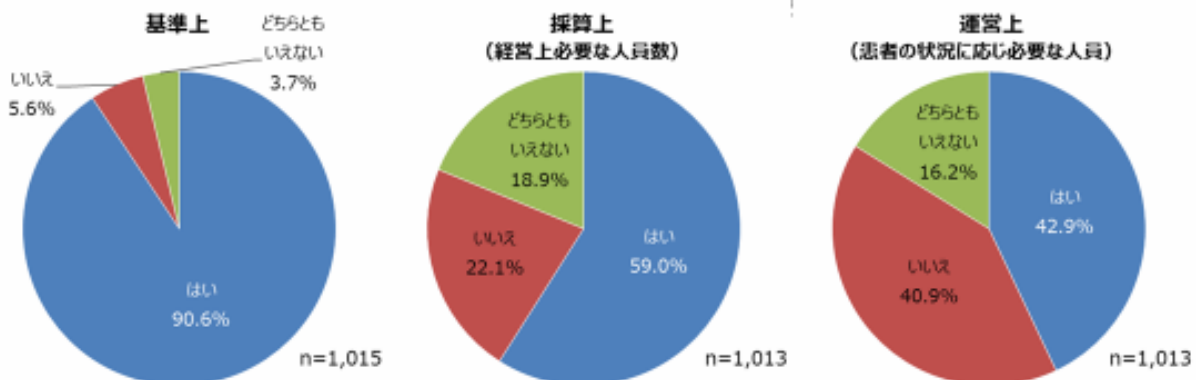
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査

2-3. 現在、貴院において数は充足していますか。

(2) 作業療法士

※1：採算上（経営上必要な人員数）
 ※2：運営上（患者の状況に応じ必要な人員）

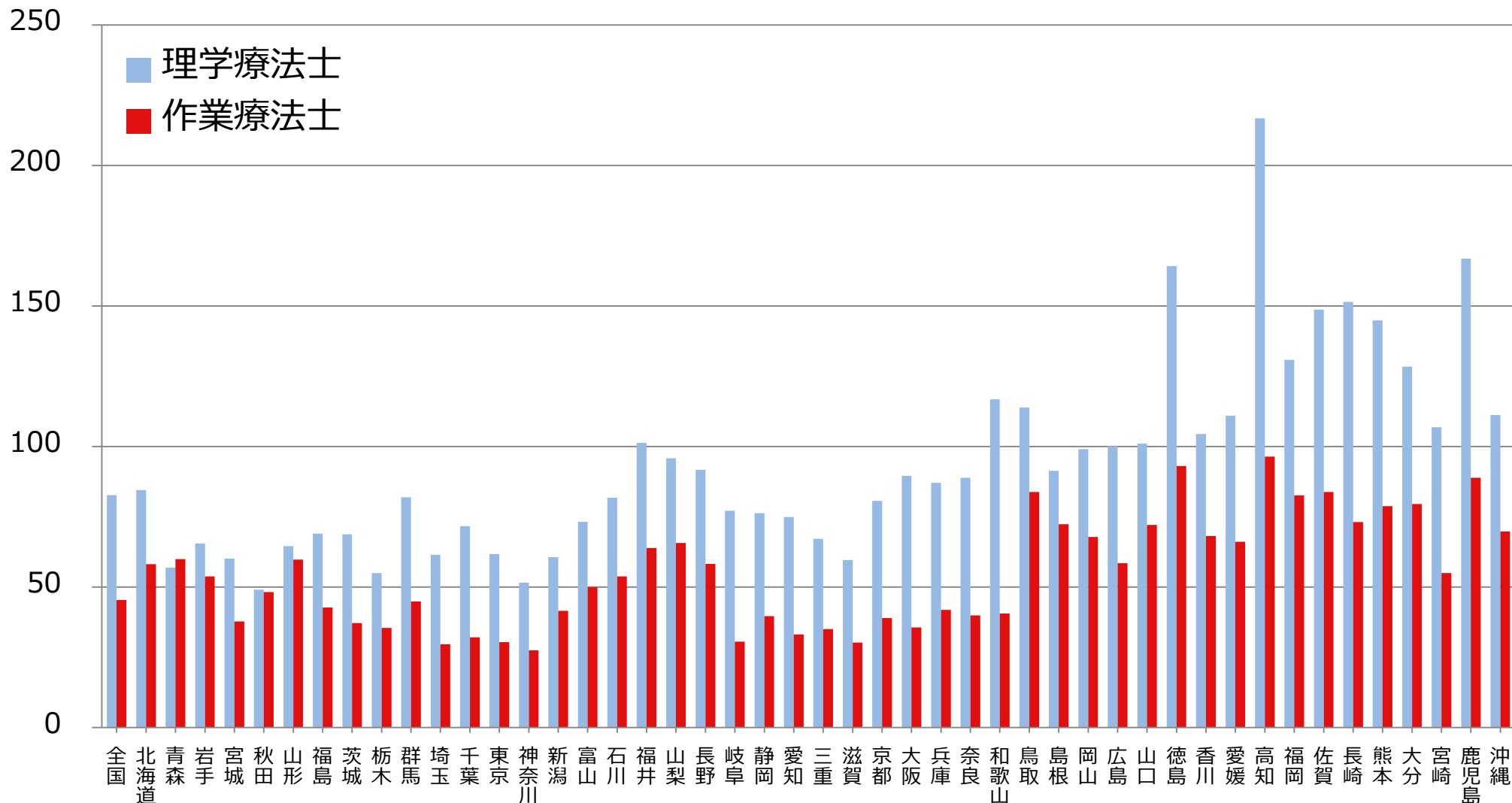
	基準上		採算上 ※1		運営上 ※2	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
はい	920	90.6%	598	59.0%	435	42.9%
いいえ	57	5.6%	224	22.1%	414	40.9%
どちらともいえない	38	3.7%	191	18.9%	164	16.2%
合計	1,015	100.0%	1,013	100.0%	1,013	100.0%



基準上は、ほぼすべての施設が充足しているが（90.6%）、採算上充足しているについては、59.0%、運営上は、42.9%となり減少し、充足していないと答えた割合が増加した。基準上の充足はしているが、経営上必要とする人員が不足し、患者に対し十分なリハビリが提供できていない施設があることがわかる。※ P.26自由記載参照

四病院団体協議会

(人) 平成26年度 人口10万対理学療法士・作業療法士数 (常勤換算従事者数)



出典：「平成26年医療施設調査・病院報告」、「平成26年介護サービス施設・事業所調査」、「人口推計（平成26年10月1日現在）」

出典：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第2回 理学療法士・作業療法士需給分科会」
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000122252_3.pdf

植草学園大学
保健医療学部
「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」
設置構想に係るニーズアセスメント調査
【高校生アンケート調査】
報告書

平成 30 年 11 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	3
3	集計結果のポイント	7

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）についての高校生アンケート調査」用紙

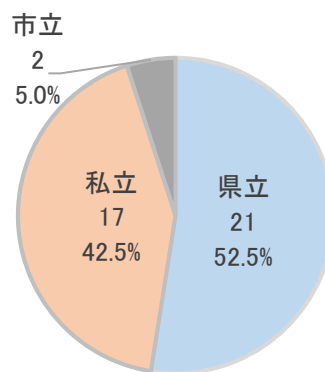
1 調査の概要

- ◆ 調査目的 : 本調査は、植草学園大学が平成 32 (2020) 年 4 月に設置を構想中の「リハビリテーション学科作業療法学専攻 (仮称)」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆ 調査期間 : 平成 30 年 7 月～9 月
- ◆ 調査対象 : 植草学園大学 (千葉県千葉市) のキャンパスへの自宅通学が現実的である千葉県全域の高校 190 校に通う生徒で、平成 32 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い、平成 30 年度の高校 2 年生を対象とした。
- ◆ 調査方法 : 上記 190 校の高校に郵送でアンケート実施を依頼し、実施協力への承認が得られた 40 校にアンケートを送付した。各校の教員が調査対象である高校 2 年生にアンケート用紙を配布し、回答終了後その場で回収した。
- ◆ 調査内容 : アンケート項目は全 9 問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は以下の通りである。
『回答者の基本情報 (性別・居住地) について』
『回答者の高校卒業後の希望進路について』
『植草学園大学保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻 (仮称)」への受験・入学意欲について』
- ◆ 実施校 : 40 校 (実施率 21.1%/依頼数 190 校)
- ◆ 有効件数 : 6,719 件 (回収件数 6,721 件/有効件数率 99.97%)
※問 1 (性別) と問 2 (居住地) いずれかに無回答であった回答 2 件を無効回答とした。
- ◆ 実施高校 : 本アンケートにご協力いただいた 40 校の詳細は次の通り。

1. 実施高校数

所在地	設置者	高校数	割合
千葉県	県立	21	52.5%
	私立	17	42.5%
	市立	2	5.0%
	合計	40	100.0%

2. 設置者別実施高校数の割合



※以上、パーセンテージは、小数点第二位以下四捨五入

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

3～6 ページは、アンケートで回答を得た6,719件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	男性	3,127	46.5%
2	女性	3,592	53.5%
合計		6,719	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	千葉県	6,635	98.7%
2	茨城県	38	0.6%
3	埼玉県	8	0.1%
4	東京都	30	0.4%
5	その他	8	0.1%
合計		6,719	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者6,719人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目		回答数	構成比
1	大学	4,496	66.9%
2	短期大学	570	8.5%
3	専門学校	1,775	26.4%
4	就職	872	13.0%
5	その他	141	2.1%
	無回答	21	0.3%

問4 あなたが将来希望する進路をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	一般企業	1,226	18.2%
2	公務員・団体職員	750	11.2%
3	教員	349	5.2%
4	専門職(資格をいかす職業)	1,873	27.9%
5	起業・会社経営	76	1.1%
6	まだ決めていない	2,250	33.5%
7	その他	163	2.4%
	無回答	32	0.5%
合計		6,719	100.0%

問5 あなたは“作業療法士”という国家資格を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	仕事内容などを知っている	591	8.8%
2	名前は聞いたことがある	2,279	33.9%
3	知らなかった	3,832	57.0%
	無回答	17	0.3%
合計		6,719	100.0%

問6 あなたは、植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を受験したいと思
いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	298	4.4%
2	受験しない	6,317	94.0%
	無回答	104	1.5%
合計		6,719	100.0%

問7、問8は問6で「1. 受験したい」と回答した298人が回答対象である。

問7 植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を受験したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者298人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目		回答数	構成比
1	希望する資格(作業療法士)が取得できるから	106	35.6%
2	障害のある人の役に立ちたいから	71	23.8%
3	教育内容に興味・関心があるから	96	32.2%
4	リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから	75	25.2%
5	養成する人材像や特色に共感できるから	21	7.0%
6	リハビリロボットに興味があるから	14	4.7%
7	植草学園大学に良好なイメージを持っているから	31	10.4%
8	自宅からの通学が便利だから	16	5.4%
9	音楽療法士の資格がとれるから	19	6.4%
10	おもちゃインストラクターの資格がとれるから	16	5.4%
11	その他	4	1.3%
	無回答	7	2.3%

問8 あなたは植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	100	33.6%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	183	61.4%
	無回答	15	5.0%
合計		298	100.0%

問9は問6で「2. 受験しない」と回答した6,317人が回答対象である。

問9 あなたが植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに ○)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者6,317人のうち、各項目を挙げた者の割合。

	選択項目	回答数	構成比
1	興味・関心のある分野ではないから	4,930	78.0%
2	興味・関心のある分野だが、他大学への進学を希望しているから	586	9.3%
3	興味・関心のある分野だが、新設学部へ進学するのは不安だから	88	1.4%
4	興味・関心のある分野だが、更に詳細を知った上で検討したいから	317	5.0%
5	卒業後の進路として、大学への進学を考えていないから	574	9.1%
6	通学が不便そうだから	230	3.6%
7	学費が高いから	446	7.1%
8	その他	129	2.0%
	無回答	100	1.6%

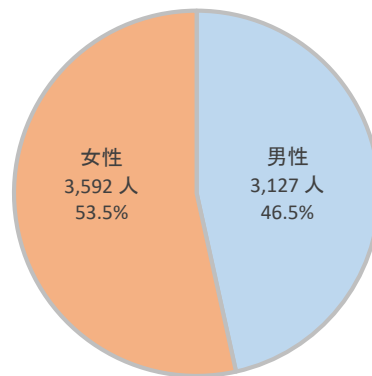
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

● 回答者の男女比はほぼ5割ずつ

回答者6,719人中、男性は3,127人(46.5%)、女性は3,592人(53.5%)であった。

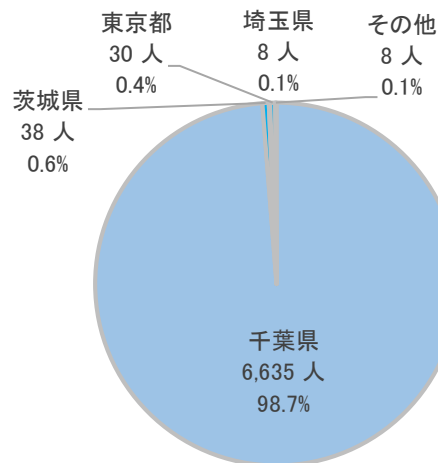
グラフ 回答者の性別(「問1」結果より)



● 回答者の約9割以上が千葉県に居住

回答者6,719人のうち、千葉県に6,635人(98.7%)、茨城県に38人(0.6%)、東京都に30人(0.4%)、埼玉県に8人(0.1%)、その他の県に8人(0.1%)が居住していると回答した。植草学園大学の所在地である千葉県千葉市にアクセスが良く、自宅からの通学の利便性の高い千葉県に居住している回答者の合計は6,635人(98.7%)であり、実際の募集を想定した地域で実施していることから、調査結果の適性は十分に担保している。

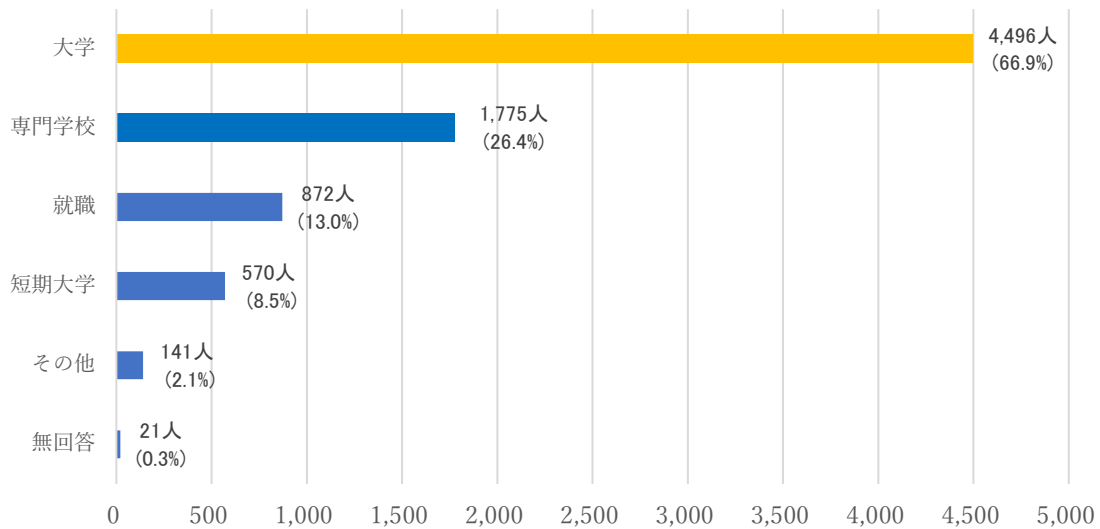
グラフ 回答者の居住地(「問2」結果より)



● 回答者の約7割が、高校卒業後の進路として大学進学を検討

回答を得た高校生 6,719 人のうち、66.9%にあたる 4,496 人が高校卒業後の進路として「大学」を選択しており、他の選択肢と比較して多い回答数となった（複数回答の結果）。

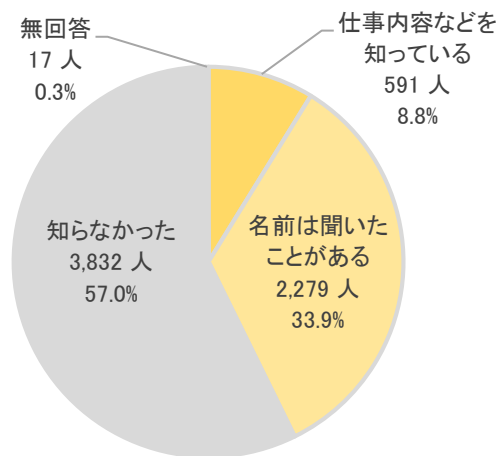
グラフ 卒業後の希望進路(「問3」結果より)



● 2,870 人が「作業療法士」という国家資格を認知している

回答を得た高校生 6,719 人のうち、全体の 8.8%にあたる 591 人が「作業療法士」の「仕事内容を知っている」、と回答し、33.9%にあたる 2,279 人が「名前は聞いたことがある」と回答し、併せて 42.7%にあたる 2,870 人が「作業療法士」を認知していた。また、「知らなかった」と回答したのは、全体の 57.0%にあたる 3,832 人であった。

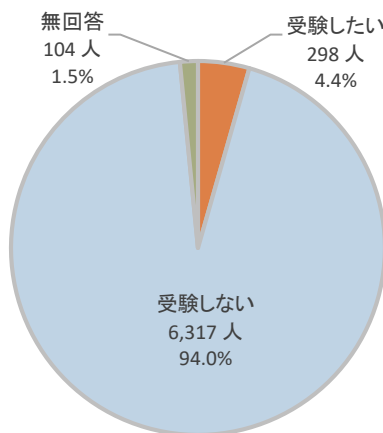
グラフ “作業療法士”という資格を知っていますか(「問5」結果より)



● 298人が「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」を「受験したい」と回答

回答者 6,719 人のうち、4.4%にあたる 298 人が、植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」を「受験したい」と回答した。

グラフ 植草学園大学のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）への受験意欲（「問6」結果より）

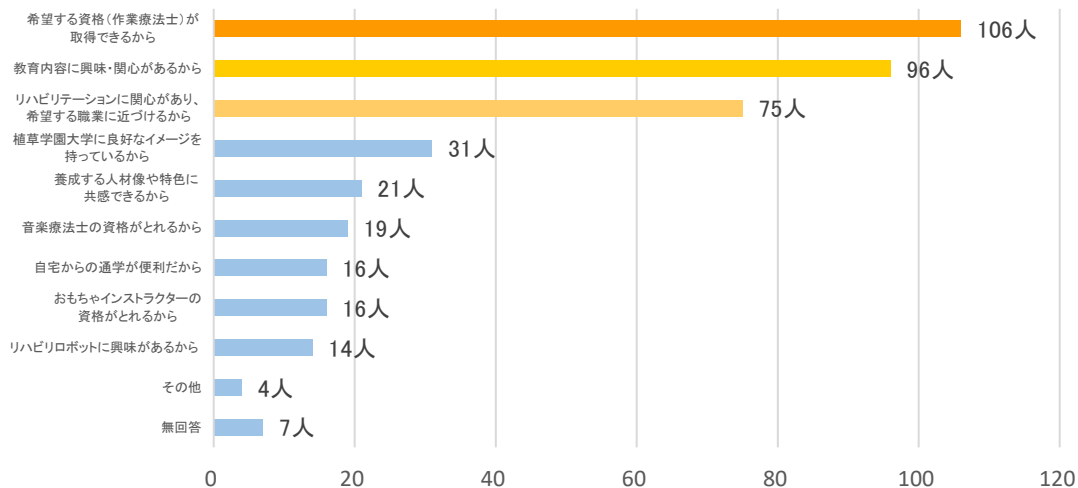


以下は、問6で「1. 受験したい」と回答した 298 人を対象とした分析である。

● 受験意欲を示した理由として、「希望する資格（作業療法士）が取得できる」が多数

植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」を「受験したい」と受験意欲を示した 298 人に受験したいと思った理由を聞いたところ、回答の多い順に「希望する資格（作業療法士）が取得できるから」106 人、「教育内容に興味・関心があるから」96 人、「リハビリテーションに関心があり、希望する職業に近づけるから」75 人であった（複数回答、回答人数は延べ）。

グラフ リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を受験したい理由（「問7」結果より）



● 100人が、合格した場合は「入学したい」と回答

問6で「受験したい」と回答した298人に、植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」に合格した場合の入学意欲について質問したところ、100人（33.6%）が「入学したい」、183人（61.4%）が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。

この入学意欲の回答を地域別に見ると、キャンパスのある千葉県では、「入学したい」が99人、「併願大学の結果によっては入学したい」が178人で、合計277人となった。通学が容易な千葉県内の回答者が入学に意欲を示す結果となった。

グラフ 「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」への入学意欲（「問8」結果より）

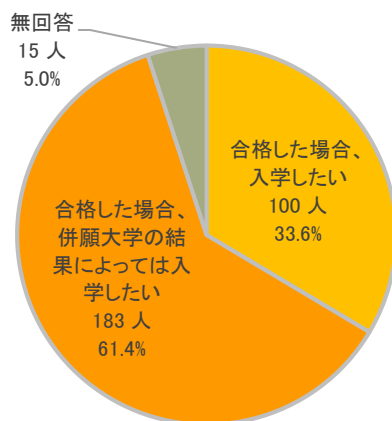


表 地域別に見た「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」への入学意欲

選択項目	入学したい		併願先の結果によっては入学したい		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
千葉県	99人	99.0%	178人	97.3%	277人	97.9%
茨城県	0人	0.0%	4人	2.2%	4人	1.4%
埼玉県	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
東京都	1人	1.0%	1人	0.5%	2人	0.7%
その他	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	100人	100.0%	183人	100.0%	283人	100.0%

以上の結果より、植草学園大学が平成32年4月に設置を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」に対して、入学定員を上回る“入学意欲”を得られたため、学生確保は十分可能であると判断できる。

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）
設置構想に係る高校生アンケート調査」用紙

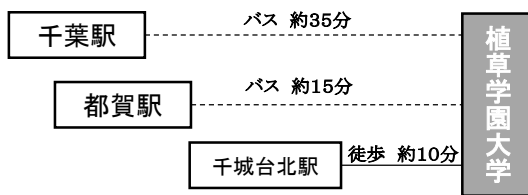
作業療法学専攻

(仮称・設置構想中)

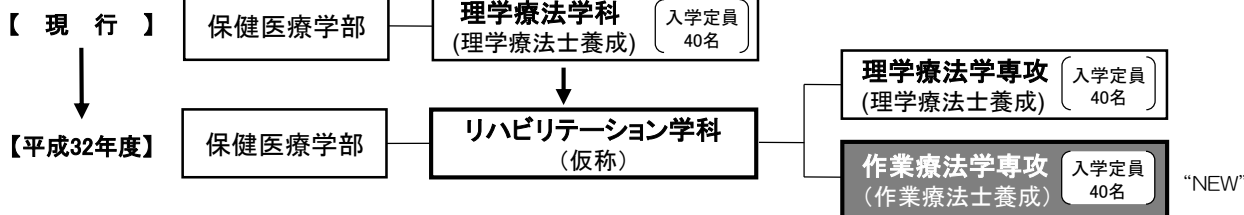
概要

開設時期：平成32(2020)年
 開設場所：千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3
 修業年限：4年
 入学定員：40人
 取得学位：学士(作業療法学)

アクセス



改組の内容



本学では、平成32(2020)年度より理学療法学科を、リハビリテーション学科(仮称)に改組します。リハビリテーション学科(仮称)は、理学療法学専攻と作業療法学専攻の2専攻となります。

【リハビリテーション学科(仮称)の特色】

理学療法学専攻、作業療法学専攻それぞれ共通の科目が多いため、お互いの職種の特徴を理解しながら、それぞれの専門性を深められるため、リハビリテーション医療におけるチーム医療の精神を学ぶことができる。さらに、最新のリハビリテーション工学(リハロボット等)を学ぶことができる。

作業療法学専攻(仮称)

入学定員 40名(予定)

《作業療法学専攻(仮称)では、以下のような人材を養成します》

専門性、人間性にすぐれ、主体的に問題解決にあたることのできる作業療法士

- ① 医療職としての倫理観をもち、判断し、行動する
- ② 多職種間で連携し、共通の目標に向かって協調して行動する
- ③ 地域包括ケアシステムに積極的に寄与する
- ④ 『生活行為向上マネジメント』を理解し、作業療法の臨床に使える

特色と資格

【作業療法学専攻(仮称)の特色】

- ① 実務経験豊富な教員を配置するため、安心して授業や実習指導を受けられる。
- ② 病院や施設などへの実習前には、学内で実技試験を行うため、自信をもって実習に参加できる。
- ③ これまでの、患者を正しく治療するための評価や治療に加え、アートとしての音楽・ダンスやおもちゃに関連した評価法や治療法を学べる。

【取得できる資格】

- ① 作業療法士(国家試験受験資格)
 - ② 音楽療法士(全国音楽療法士養成協議会認定資格)
 - ③ おもちゃインストラクター(芸術と遊び創造協会認定資格)
- ※②③については、所定の科目を履修することで取得可能です。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

作業療法学専攻（仮称）の学費が以下の通りです。

初年度納付金

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	実験実習費・ 設備拡充費等	その他	初年度納入金
本学 リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称） 千葉県千葉市若葉区	270,000円	850,000円	750,000円		1,870,000円
国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 千葉県成田市	300,000円	900,000円	350,000円		1,550,000円
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科 千葉県上市	300,000円	840,000円	523,000円	3,300円	1,666,300円
杏林大学 保健学部作業療法学科 東京都三鷹市	250,000円	1,150,000円	500,000円	88,370円	1,988,370円
東京工科大学 医療保健学部リハビリテーション学科 東京都多摩市	340,000円	1,560,000円		23,300円	1,923,300円

◆植草学園大学の施設・教育充実費には、臨床実習等で宿泊を伴う場合の宿泊費・交通費が含まれています。

（※大学によっては、臨床実習に係る費用等が別途必要です。）

◆植草学園大学の学費について ※上記の金額は予定です。変更となる場合があります。

◆その他の大学について

・他の大学の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます（2018年6月時点）。

・各大学とも、その他に諸会費が必要な場合があります。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

作業療法士の役割・お仕事について

① 作業療法士は、“リハビリテーション”を支える国家資格です

- ◇ “リハビリテーション”とは、身体や精神などに障害をもつ人々を、最大限に回復するように働きかけ、改善を図ることです。
- ◇ 医療や介護などで行われる“リハビリテーション”には、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3種類があります。
- ◇ 作業療法士は、“リハビリテーション”を支える**重要な国家資格**です。

② “作業療法士”の役割とは

- ◇ 「作業」とは、食事や更衣、趣味や仕事など、人の生活に関わるすべての諸活動のことを呼んでいます。
- ◇ 病気や怪我、生まれながらに障害がある人々に対し、「作業」を通じて、生活に不安なく適応できる身体や精神の回復をサポートすることを、「作業療法」といいます。
- ◇ “作業療法士”は、身体機能の回復だけではなく、精神的、心理的なサポートを行うリハビリテーションの専門家です。



作業療法士は、
ケアやサポートが必要な方、一人ひとりを支えています。

『生きる力』を支える作業療法

作業療法士は、その人その人の笑顔
あふれる今と未来を作ることができる
やりがいのある仕事です。

【卒業後の進路】

作業療法士は、病院や診療所などの『医療分野』、高齢者介護施設などの『福祉分野』、地域包括支援センターなどの『保健分野』、特別支援学校などの『教育分野』で活躍しています。

高齢社会となり、医療や福祉をはじめとして、幅広い分野で今後さらに求められます。

2018年度（2019年度入試）オープンキャンパス日程

●オープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
5/20（日）、6/3（日）、6/16（土）、7/15（日）、7/29（日）、8/11（土）、8/25（土）	
●入試説明会	開催時間 10:00～12:00
9/22（土）、10/20（土）	
●個別相談会（学園祭同時開催）	開催時間 10:00～14:00
11/10（土）、11/11（日）	
●春のオープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
3/23（土）	

2019年度（2020年度入試）オープンキャンパス日程（予定）

●オープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
4/27（土）、5/25（土）、6/8（土）、7/6（土）、7/28（日）、8/10（土）、8/24（土）	
●入試説明会	開催時間 10:00～12:00
9/15（土）、10/19（土）	
●個別相談会（学園祭同時開催）	開催時間 10:00～14:00
11/9（土）、11/10（日）	
●春のオープンキャンパス	開催時間 10:00～14:00
3/21（土）	

平成28年度～平成30年度 高校訪問回数（ガイダンス含む）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
北海道	11	0	0
青森県	25	13	8
岩手県	6	9	20
秋田県	17	13	0
山形県	3	0	1
宮城県	4	10	6
福島県	64	83	54
栃木県	9	10	5
群馬県	6	0	8
埼玉県	2	2	0
東京都	15	17	36
千葉県	734	610	794
茨城県	414	95	150
神奈川県	1	2	5
新潟県	30	24	28
山梨県	0	0	8
富山県	0	7	0
長野県	79	53	23
静岡県	45	52	47
広島県	0	0	2
三重県	0	2	2
兵庫県	0	0	1
愛媛県	0	1	2
沖縄県	13	5	4
計	1478	1008	1204

※本学集計データ（延べ数）

平成 30 年度第 1 回高大連携授業を行いました

6 月 15 日（金・千葉県民の日）、平成 30 年度第 1 回高大連携授業を行いました。

植草学園大学・短期大学との連携校の生徒さんをはじめ千葉県内の高校生 41 名が、学生と共に 2 限と 3 限の授業を受講しました。

<2 限 11:00~12:30>



小学校課程専攻「図画工作科指導法」



幼保課程専攻「インクルーシブ保育Ⅰ」



理学療法“理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法”



介護福祉(障害)「障害の理解Ⅱ」



保育+特別支援「障害児保育Ⅱ」

<お昼休み 12:30~13:20>

お昼休みにはチアダンスサークル Welfares のパフォーマンスが行われました。



<3限 13:20~14:50>



幼保課程専攻「保育内容演習 I ・音楽」



特別支援教育課程専攻「LD・ADHD等教育総論」



理学療法学専門基礎「運動療法学実習」



介護福祉 “視覚に障害がある方の移動支援”



保育+特別支援 “障害のある子どもを含むインクルーシブ保育を考える！”

平成 30 年度第 2 回高大連携授業を行いました

7月16日（月・海の日）、平成30年度第2回高大連携授業を行い、約80名の高校生が学生と共に2限と3限の授業を受講しました。

<2 限 11:00~12:30>



教養課程「英語Ⅰ」



幼児保育「保育原理」



理学療法「運動器系疾患理学療法学実習」



介護福祉「生活支援技術（着替え）」



保育「子どもにとっての絵本や紙芝居について」



<お昼休み 12:30~13:20>



本日のMENU	
チキンカツニク味噌だれ定食	370円
肉じゃが(牛肉)定食	370円
豚肉とキムチクッパ丼	330円
ビーフカレー	290円
ラーメン	250円
ワンタン麺	310円
各種日替わり副菜 80円	サラダ 100円など

<3限 13:20~14:50>



教養課程「専門ゼミナールⅠ」

特別支援教育「専門ゼミナールⅠ」



幼児保育「専門ゼミナールⅠ」

医療「生理学」



介護福祉「介護の基本Ⅰ（介護福祉論）」



保育「遊びと子どもの世界」

平成 30 年度第 3 回高大連携授業を行いました

9 月 24 日（月）、平成 30 年度第 3 回高大連携授業を行い、約 100 名の高校生が学生と共に 2 限と 3 限の授業を受講しました。

<2 限 11:00～12:30>



小学校課程「国語科指導法」



障害福祉「発見！バリアフリー」



理学療法・教養課程「基礎生物学」



介護福祉「認知症ケア」



幼児・保育過程「幼児教育相談の基礎」



<お昼休み 12:30～13:20>



<3限 13:20～14:50>



小学校課程「専門ゼミナールⅠ」



教養課程「心理・療育（音楽が心に与える影響）」



理学療法「中枢神経系理学療法治療学」



介護福祉「発達と老化の理解Ⅱ」



保育・特別支援教育「インクルーシブ保育Ⅱ-障害のある子どももたのしく参加できる保育-」



平成 30 年度第 4 回高大連携授業を行いました

2 月 12 日（火）、平成 30 年度第 4 回高大連携授業を行い、高校生が 2 限と 3 限の特別授業を受講しました。

<2 限 11:00～12:30>



初等家庭科教育通論



理学療法士が行う測定器なしで筋力を測定する方法



子どもの発達と作業療法（2・3限）



保育って楽しい！パネルシアター入門編 1

<お昼休み 12:30～13:20>



<3限 13:20~14:50>



メディアリテラシー



スポーツ理学療法学

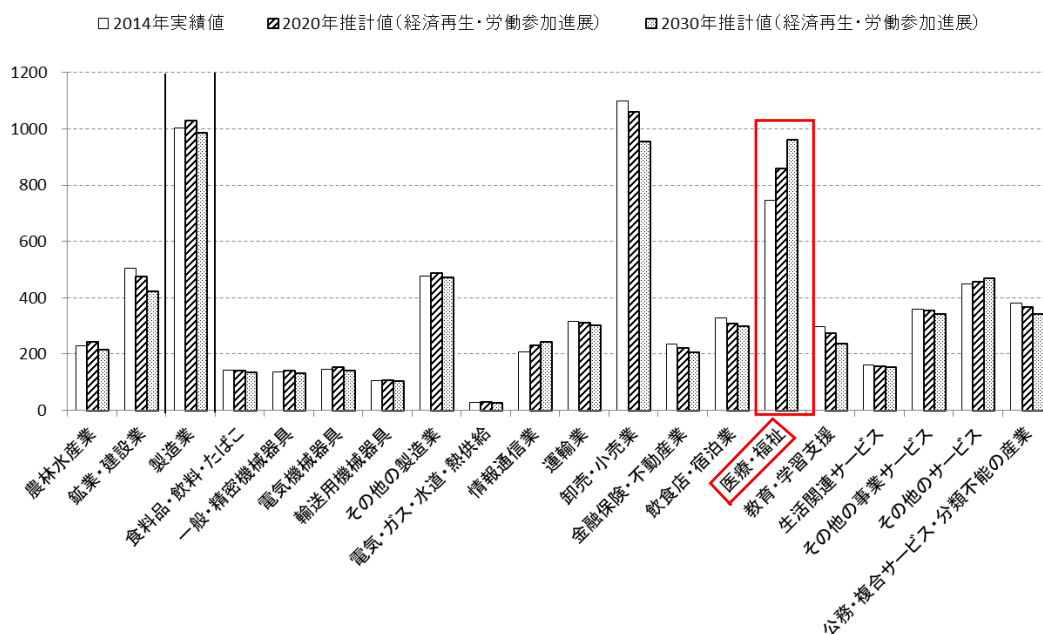


保育って楽しい！パネルシアター入門編2

植草学園大学 スカラシップ制度・学費等納付金の減免措置一覧

奨学金の名称	給付・減免の別	要件	減免措置額又は奨学金の給付額
新入学生対象スカラシップ制度	減免	(1) 大学入試センター試験利用入試A日程における合格者で、その成績が学部毎に上位10%以内の者	(1) 入学金の全額及び1年次の授業料全額 (2) 2～4年次の授業料全額(ただし、各学年の成績が上位20%以内であること。)
		(2) 大学入試センター試験利用入試A日程における合格者で、その成績が学部毎に上位20%以内の者	(1) 入学金の全額及び1年次の授業料半額 (2) 2～4年次の授業料半額(ただし、各学年の成績が上位20%以内であること。)
		(3) 次の入試に合格し、入学手続を完了した者で大学入試センター試験利用入試A日程を再受験したものについても(1)及び(2)と同様とする。 ① AO入試 ② 推薦入試(公募制, 指定校制) ③ 植草学園大学附属高等学校特別選抜試験	
在学学生対象スカラシップ制度	減免	次の要件を満たす者 ① 1年次～3年次における成績(両学年におけるGrade Point Averageの平均値による。)が学部毎に上位5%以内であること ② 学生生活全般を通じての態度行動が良好であること。 ③ 新入学生スカラシップ制度対象者でないこと。	奨学金20万円
植草こう特別教育資金制度	給付	①植草学園大学2年次在籍者 ②植草学園大学, 植草学園短期大学の最終学年次在籍者で当該年度末に卒業見込みの者 経済的理由により修学困難な者のうち、次のいずれかに該当する者。 ①特に成績優秀な者で、各大学の長より推薦された者 ②課外活動等において、特に功績があった者で、各大学の長より推薦された者	150,000円(限度額)
植草学園授業料減免	減免	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合。	収入基準額による全額または半額の授業料減免
植草学園授業料等減免特例措置	減免	東日本大震災により被災し、学生等納付金の納入が困難となった方を対象。	震災等の災害による全額または半額の授業料免除
植草学園奨学金	給付	家計急変により経済的に修学が困難であるとともに学業に熱意を持つ者。ただし、家計急変の事由により、授業料の減額又は免除を受けられる学生は対象者としない。	300,000円(限度額)の範囲で状況を勘案して決定

産業別就業者数の推移（経済再生・労働参加進展シナリオ、単位：万人）



注) 1. 2014年実績値は総務省統計局「労働力調査」（労働力需給推計の表章産業分類に合うように組み替え）、2020年及び2030年は労働政策研究・研修機構による推計値。

2. 経済再生・労働参加進展シナリオ：経済成長、及び若者、女性、高齢者などの労働市場参加が進むシナリオ
3. 「その他の製造業」は、ここで明示している製造業以外のものを指しており、日本標準産業分類のその他の製造業に加え、窯業・土石、鉄鋼、金属製品などの素材産業も含んでいる。
4. 労働力需給推計では、派遣労働者は、派遣元の産業である「その他の事業サービス」に分類されており、他の産業には派遣労働者は含まれていないことに留意。なお、「労働力調査」においては、2012年まで労働者派遣事業所の派遣労働者は、派遣先の産業ではなく、派遣元の産業に分類されていたが、2013年からは派遣先の産業に分類されるようになった。

出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成27年労働力需給の推計」
<https://www.jil.go.jp/press/documents/20151216.pdf>

第2節 千葉県における現状と将来の医療需要

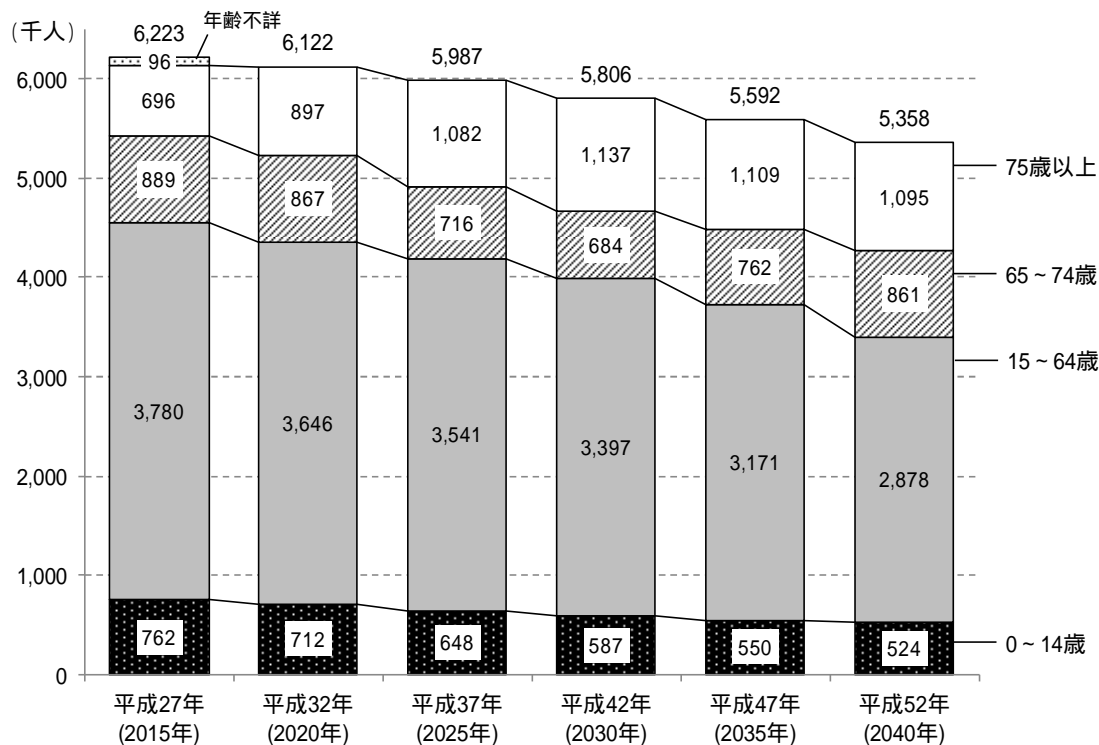
1 人口等の状況

千葉県の平成27年時点での総人口は6,222,666人でしたが、今後は、総人口は緩やかに減少し、平成37年には5,987,027人、平成52年には5,358,191人まで減少する見込みです。

年齢構成別にみると、平成27年時点の0歳から15歳までの年少人口は762,112人、15歳から64歳までの生産年齢人口は3,779,812人でしたが、平成37年には、それぞれ648,271人（平成27年の85%）、3,540,991人（同94%）に、平成52年には、それぞれ523,847人（同69%）、2,877,866人（76%）へと減少する見込みです。

一方、75歳以上の人口は平成27年時点では695,819人でしたが、平成37年には1,082,206人（平成27年の156%）、平成42年には1,137,288人（同163%）と増加し、その後減少に転じ、平成52年には1,095,361人（同157%）になると見込まれています。

図表 1-4-2-1-1 千葉県の将来推計人口



資料：「平成27年国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）をもとに作成

千葉県内理学療法士，作業療法士養成校一覧

(平成30年度8月時点)

【理学療法士養成校】

都道府県	養成校名 (開設年)	定員	所在地
千葉県	●千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科 (理学・作業 50) 2009年 *2013年3月1期卒業	25	千葉市 中央区 仁戸名町
	●帝京平成大学 健康医療スポーツ学部理学療法学科 2008年 *2012年3月1期卒業	80	市原市 うるいど
	●了徳寺大学 健康科学部理学療法学科 2006年 *2011年3月1期卒業	80	浦安市 明海
	●植草学園大学 保健医療学部理学療法学科 2008年 *2012年3月1期卒業	40	千葉市 若葉区
	●国際医療福祉大学 成田保健医療学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期卒業	80	成田市
	●城西国際大学 福祉総合学部理学療法学科 2016年 *2020年3月1期卒業	80	東金市
	●専門学校 千葉・柏リハビリテーション学院 2001年・4年制	80	柏市
	●専門学校 藤リハビリテーション学院 1992年・4年制	30	成田市
	●千葉医療福祉専門学校 1998年・4年制	30	君津市
	●国際医療福祉専門学校 2004年・3年制	40	千葉市 中央区
	●専門学校 八千代リハビリテーション学院 2004年・3年制	80 夜40	八千代市
合計	685		

【作業療法士養成校】

都道府県	養成校名 (開設年)	定員	所在地
千葉県	●千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻 2009年 *2013年3月1期卒業	25	千葉市 中央区 仁戸名町
	●帝京平成大学 健康医療スポーツ学部作業療法学科 2008年 *2012年3月1期卒業	40	市原市 うるいど
	●国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 2016年 *2020年3月1期卒業	40	成田市
	●専門学校 千葉・柏リハビリテーション学院 2001年・3年制	40	柏市
	●千葉医療福祉専門学校 1998年・4年制	30	君津市
	●専門学校 八千代リハビリテーション学院 2004年・3年制	40	八千代市
	合計	215	

保健医療学部 就職状況（開学（平成20年度）～平成29年度）

学部	学科	平成20年度					平成21年度					平成22年度				
		卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保健医療学部計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

学部	学科	平成23年度(完成年度)					平成24年度					平成25年度				
		卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	27	20	20	100.0%	597	31	20	20	100.0%	749	41	34	34	100.0%	559
保健医療学部計		27	20	20	100.0%	597	31	20	20	100.0%	749	41	34	34	100.0%	559

学部	学科	平成26年度					平成27年度					平成28年度				
		卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	51	42	42	100.0%	749	28	21	21	100.0%	746	41	38	38	100.0%	714
保健医療学部計		51	42	42	100.0%	749	28	21	21	100.0%	746	41	38	38	100.0%	715

学部	学科	平成29年度				
		卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	理学療法 学科	36	32	32	100.0%	737
保健医療学部計		36	32	32	100.0%	737

1 (書類等の題名)

千葉市内大学の地元就職率 (【資料1 2】1 ページ)

2 (出典)

ちば産学官連携プラットフォーム

「高等教育の現状及び課題について」

3 (引用範囲)

<https://www.chiba-pf.org/>基本方針/高等教育の現状及び課題について分析/

4 (その他の説明)

本学の県内就職率を示すため、図「地元就職率 (含帝京平成大学、除千葉大学)」を抜粋した。

植草学園大学
保健医療学部
「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」
設置構想に係るニーズアセスメント調査
【採用意向アンケート調査】
報告書

平成 30 年 11 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	9

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）設置構想に係る採用意向アンケート調査」用紙

1 調査の概要

- ◆ 調査目的：本調査は、植草学園大学が平成32年4月に設置を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の卒業生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆ 調査期間：平成30年7月～9月
- ◆ 調査対象：平成32年4月に設置を構想中の保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の卒業生の採用が期待される千葉県内の医療機関・施設と、当該学科の実習受け入れ先等、693件にアンケート用紙を送付し、協力を依頼した。
依頼対象とした医療機関・施設は次の通りである。

	茨城県	千葉県	東京都	埼玉県	神奈川県	計
病院	14	278	15	9	1	317
診療所・クリニック	0	103	0	0	0	103
介護老人保健施設	3	160	1	1	1	166
特別養護老人ホーム	0	46	0	0	0	46
生活介護	0	37	0	0	0	37
自立訓練	0	24	0	0	0	24
計	17	648	16	10	2	693

- ◆ 調査方法：調査対象とした上記693件の採用担当者宛てに、植草学園大学が平成32年4月に開設を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の説明が入ったアンケート用紙を送付し、回答・返信を求めた。
- ◆ 調査内容：アンケート項目は全11問で、10問を選択肢式、1問を記述式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『医療機関・施設の基本情報』
『医療機関・施設が新卒生を採用する際に重視する点について』
『植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）の卒業生の採用見込みについて』
- ◆ 回収件数：185件（配布件数 693件／回収率 26.7%）

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

2～8 ページは、アンケートで回答を得た185件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 貴機関・貴施設の業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	病院	75	40.5%
2	診療所・クリニック	12	6.5%
3	介護老人保健施設	53	28.6%
4	特別養護老人ホーム	22	11.9%
5	生活介護施設	10	5.4%
6	自立訓練施設	1	0.5%
7	その他	12	6.5%
合計		185	100.0%

問2 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	千葉県(千葉市内)	72	38.9%
2	千葉県(千葉市以外)	94	50.8%
3	茨城県	9	4.9%
4	東京都	5	2.7%
5	その他	5	2.7%
合計		185	100.0%

問3 貴機関・貴施設に所属している作業療法士(常勤)の規模をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1～2人	45	24.3%
2	3～5人	42	22.7%
3	6～10人	22	11.9%
4	11～20人	8	4.3%
5	21人～	14	7.6%
6	現在、作業療法士はいない	52	28.1%
	無回答	2	1.1%
合計		185	100.0%

問4 貴機関・貴施設が過去1年間に採用した大卒の作業療法士の人数をお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1～2人	45	24.3%
2	3～5人	13	7.0%
3	6～10人	3	1.6%
4	11～20人	2	1.1%
5	21人～	0	0.0%
6	大卒の作業療法士は採用していない	122	65.9%
合計		185	100.0%

問5 貴機関・貴施設において、大卒の作業療法士を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。(特にあてはまるもの5つまでを、枠内に記入)

※回答者数は、185件。

※構成比は回答のあった185件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	コミュニケーション能力	162	87.6%
2	基礎的な学力	88	47.6%
3	専門的な知識	96	51.9%
4	語学力	1	0.5%
5	創造的思考力	44	23.8%
6	主体性・自律性	91	49.2%
7	目的達成志向	38	20.5%
8	適応力	115	62.2%
9	インターンシップ経験	4	2.2%
10	ボランティア経験	4	2.2%
11	忍耐力	40	21.6%
12	理解力	54	29.2%
13	論理力	7	3.8%
14	取得資格・免許(見込含)	43	23.2%
15	ITスキル	2	1.1%
16	倫理観・道徳性	62	33.5%
17	その他	8	4.3%
	無回答	6	3.2%

問6 貴機関・貴施設における、作業療法士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大きく不足している	38	20.5%
2	やや不足している	62	33.5%
3	適度に充足している	47	25.4%
4	過剰である	0	0.0%
5	わからない	32	17.3%
	無回答	6	3.2%
合計		185	100.0%

問7 貴機関・貴施設における、大卒の作業療法士の今後の採用方針についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	積極的に採用していきたい	73	39.5%
2	採用枠に余裕があれば採用したい	78	42.2%
3	大卒の作業療法士は採用しない	8	4.3%
4	わからない	22	11.9%
	無回答	4	2.2%
合計		185	100.0%

問8 植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)が養成する人材に対して、どれくらい興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	かなり興味がある	54	29.2%
2	やや興味がある	100	54.1%
3	あまり興味が無い	18	9.7%
4	興味が無い	9	4.9%
	無回答	4	2.2%
合計		185	100.0%

問9 植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)を卒業する学生を、将来作業療法士として採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	60	32.4%
2	採用を検討したい	63	34.1%
3	どちらとも言えない	51	27.6%
4	採用しない	8	4.3%
	無回答	3	1.6%
合計		185	100.0%

以下は「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した 123 件が回答対象である。

問 10 問 9 で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した方は、採用可能であると思われる人数をお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1名	36	19.5%
2	2名	16	8.6%
3	3名	11	5.9%
4	4名	0	0.0%
5	5名以上	5	2.7%
6	人数は未確定	54	29.2%
	無回答	63	34.1%
合計		185	100.0%

問 11 植草学園大学および構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

業種	記述内容
病院	貴校は特別支援学級などにも力を注がれており、当院のリハビリテーション科も発達障がいを抱えるお子様方を支援することが多くあるため、とても興味があります。ぜひ貴校の取り組まれることを共に学ばせて頂きながら社会貢献が行えればと考えております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。
	・チームで協力し合える協調性。 ・作業療法士は個性的な方が多く職場づくりに苦労しています。
	当院から近いところでOT科が開校されるということで大変うれしく思います。実習や採用等協力していければと思います。よろしく願います。
	都市部以外は老人が多くOT、PTさんを必要としているが希望者が本当に少ない。そういった需要を学生さんたちにお話ししていただくと大変うれしく思います。
	就職説明会などありましたら積極的に参加を致したいと思います。今後とも宜しくお願い致します。
	積極性のある方でやさしい方 みんなと話し合いのできる方。
	作業療法学専攻が設置された場合には実習生の受け入れも可能ですのでお声がけいただければと思います。
	定員割れをせず優秀なOT学生を集めていただければぜひ採用を検討したいと思います。
	専門職としての向上心を持って患者のために仕事ができる人材輩出。
	自分で考えて動ける能力を身に着けた学生教育をお願いします。
	精神科作業療法に興味のある方はぜひお越しください。見学も随時受け付けています。
	入職後教えてもらうという姿勢ではなく自主的に取り組み、専門職としてのスキルアップを図れるような人材になって頂きたいと思います。
	PT学科もそうですが立地的な条件で当院の就職に繋げづらいと聞いています。当院の就職につながって頂ければと思います。

病院	千葉県は医療介護分野ともにスタッフ養成が遅れている。貴学のような歴史と実績のある大学がこの分野に新しい光を掲げてくださるとのこの意味は大きいと思う。
	職場内で協調し、働ける方 明るい性格で臨機応変に対応できる方 患者さんと良好な関係が築ける方。
	当院は急性期の病院ですのでリスク管理や状況の変化に対しての適応力等、経験を積みつつ、学べる人材を期待します。また、自ら積極的に学ぶ姿勢のある方を期待します。
	実習前に実技練習をしてほしい（PTSとOTSの差がありすぎる）。
	医療職、専門職としての知識や技術だけでなく社会人としての姿勢やコミュニケーション能力を備えた作業療法士の育成をお願いいたします。
	回復期や急性期のみでなく維持期においても必要である、維持期におけるOTの役割をぜひ学生には伝えてほしい。
	慢性期医療に対する知識を高めていただきたい。地域包括ケアシステムが今後とも推進されるなか、急性期、回復期、慢性期の役割がセラピストとしては認識されるべきであり、学生本人がどの道を選択するのかを支援することが必要かと思えます。現状から申し上げますと治療手技に偏った教育が主であり、終末期リハに対する教育も充実していただけますと慢性期医療でも活躍できるセラピストとなるかと思えます。
	理学療法も当然そうですが作業療法のアイデンティティが問われているとよく耳にします。そのあたりの医療人教育というものがどこまで実現されるのか期待したいと存じます。
	同じ千葉県内ということもあり積極的に採用を行いたいと思っております。卒業生も当院におりますので今後ともよろしくをお願いいたします。
	コミュニケーション能力を磨き、自分で考え行動できる学生の養成を期待します。
	自分で考え行動できる人材、「患者さん利用者さんのために」を中心に考えられるセラピストの養成を目指していただければと期待します。
	問題5、7～11は本部採用で人員が配属されてくるため無記入としました。
	OTの採用を予定していなく、アンケート内容が少なく申し訳ございません。
	OTとしての知識・技術もそうですが、社会人基礎力を高められることを期待します。
作業に焦点を当てた実践、理論に根差したOT、トップダウンアプローチとボトムアップアプローチの利点欠点を理解する授業。	
診療所・クリニック	超高齢社会の伸長に伴い、これからますますニーズが高まるものと思えます。期待したいと思えます。まず第一に高齢者や障害者に優しい人材を育成していただきたいと思えます。
	作業療法士の資格を取得するための最低限の知識や常識は必要だと思えます。加えて患者さん、利用者さん、家族連携するスタッフを含めて相手の心の内を想像して根拠を持って行動にうつすことができるスキルも必要と考えています。ITや音楽療法など幅広く勉強することと、学生のうちにしか経験できない交流やサークル等もOTとしての引き出しが増えると思えます。新卒として学ぶことは多いと存じますが、新人らしく積極的に学びを深め行動できる人であれば現場にも対象者の方にも歓迎されると思えます。
	生活動作に密着した指導が患者様へ必要となりますので、生活動作をイメージできる力が必要と考えます。
老人介護 保険施設	利用者の在宅復帰を目標にした作業療法はとてもやりがいがあると思えます。利用者に自信を付けさせ、精神面で支え等今後のリハビリの主となることと思えます。作業療法士はまだ不足しています。学校の開設をお願いします。
	採用の基本は病院等の急性措置を経験したものを多く採用しております。今後は直接入職でもいいのでは（作業療法士）と考えております。これからも期待しております。
	期待しております。OTとともに新卒者の紹介をお願いいたします。

老人介護 保険施設	コミュニケーション能力や礼儀など学生のうちにフォローアップしてほしい。(患者様、利用者様、人生の先輩であることがわからない学生が多い。)
	利用者や患者に寄り添い、その気持ちを汲めること。そして専門的な視点で議題(ニーズ)やリハビリのかかわりができる臨床家が育つことを期待します。
	作業療法士として学んでいく過程で植草学園の福祉学の知識、実習力もカリキュラムに加えることができると介護施設としては採用時のポイントとして高くなるかと思います。
	他職種とのコミュニケーション能力を持っている人材を希望します。
	専門職としての向上心を持って患者のために仕事ができる人材輩出。
	今後とも大学とは実習や交流を踏まえてよい関係を継続していきたいと思っています よろしくお願いします。
	在宅復帰超強化型老健として自宅で安心安全に暮らすためのスキルを身につけていただくための知識と技術。本人の真の希望を叶えることを目的に家族と地域を説得することができるコミュニケーション能力(一般常識 倫理観それぞれの立場の人を共感できなくとも理解できること、伝える力)、利用者を一番大切に思う心。
	コミュニケーション能力 基礎的な知識 専門的な知識はもちろんのこと在宅、生活といった実用的なところをイメージしながらプログラムを立てることができる、考えて自ら行動に移すことを状況に応じてできる、といったことのできる作業療法士を養成していただきたい。
	患者様、御利用者様と思える、言えるような教育をしてほしい。実習は人と人とのかかわり方ができればまずはOK。知識、技術は二の次である。この延長に資格がある。この気持ちを何年、何十年も忘れないような方を頼みます。
	自発性の高い人材育成を望みます。言われてません、教わってませんと平気で言う人材には困ります。学校教育は一部分であり、ほかの多くは自ら学ぶものであることを理解している学生が輩出されることを期待します。
	同県内に学校ができると弊社でも応募してくれる方がいるかもしれないので好ましいです。
	応援協力をさせていただきます。
	実習の受け入れも行いたい。
	タフで主体性のある卒業生が来ることを期待しています。
	OTが少ないため大卒のOTを採用していきたい。
いつも大変お世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。	
貴校の校風がとてもいいと思っていますので貴校で育ったOTさんには期待します。	
社会人としての対応を獲得してほしい。	
特別養護 老人 ホーム	ご本人様、ご家族様の希望をしっかり把握し、きちんと実践できる人材を期待します。
	作業療法を行うことでADL、認知レベル防止が行えるようになればいいとおもいます。なかなか介護スタッフのみではリハビリを行う時間がなく専門の方がいてくれたら有難いと思います。
	専門的な知識をもったOTの先生を採用したいのでよろしくお願いいたします。
	就職後のバックアップや人脈作りをご支援願いたい。

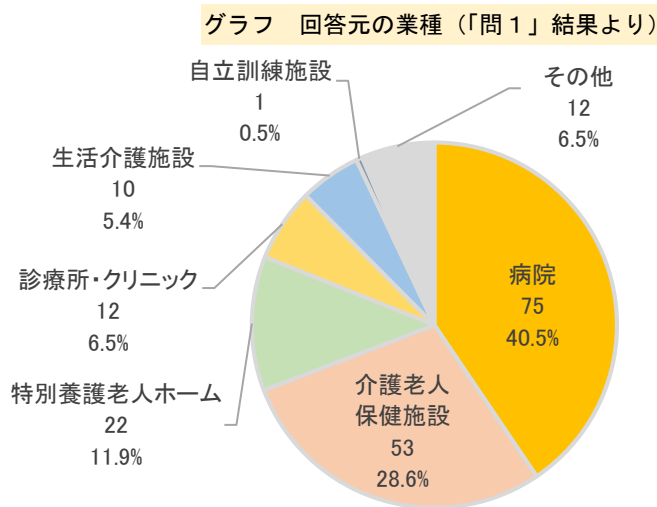
特別養護老人ホーム	基礎知識と基本的なコミュニケーションが取れる人材の育成をしてほしいです。
	法人内の老健で実習の受け入れを行いたい。
	高齢者福祉の現状からリハビリテーション学科の新設に関しては大きく期待ができます。理学療法士は医療機関での採用が期待大であると思われる。作業療法士に関しても同様と思われる。特別養護老人ホームの現状からすると採用段階では経費的に踏み切れない現状がある。特化したデイサービス等での採用が期待できると思います。
	通所介護を休止しておりますので、現在のところに上記の内容となっております。通所が再開すればまた違った内容となると思います。在宅生活を継続するうえで作業療法士のスキルは利用者に必ず利益となりますので活躍を期待しております。
	法人内の老健で実習の受け入れを行いたい。
	特別養護老人ホームでは現状大きな法人を除いて、直接雇用している法人はさほど多くないと思います。
	私どもの事業所は特養ですので介護という部分とリハビリの部分が連動するような立ち位置での専門職が必要だと思っています。
	当法人では理学療法士を採用しているが作業療法士の必要性も感じている。それは競争（施設を選んでもらうためのPRとして）の中で職員では叶わない部分として。
生活介護施設	生活介護において作業を教えることの難しさを感じております。工程を整えたり、組み立てて提供できれば利用者さんも安定して活動できると思うのでそのために専門性を学んだ人による取組ができればいいと思っています。わが施設は支援区分が重く、収益を得るのは難しいですが、個々の得意を見極め、それを生かせる作業ができれば利用者さんの生きがいにもつながると思います。期待します。
	児童の分野、また入所の分野で作業療法の方がいてくださると専門的なアドバイスをいただければ深みのある支援ができるな…と思っています。いくつかの学校さんの就職フェアにも出向いているのですが採用が難しいです。今までお付き合いのある植草大学の学生さんとまた保育を通してよい形で一緒に進めていけると嬉しいです。
	障がい者を対象とした事業所として障がい者を有する方への支援教育に力を注いでおられる植草学園さんには好感と期待を持っています。インクルーシブ教育システムの推進などにおいてもそのノウハウと専門性を生かして今後も様々な取り組みを応援しております。最後に卒業生も多く働いていただいております。優秀な人材を育てておられることに感謝しています。
	病院での需要があると思います。
その他	コミュニケーション能力の高いホスピタリティあふれるOTさんの育成をぜひご期待申し上げます。
	社会人としての基礎を育てられる学生を希望します。
	法人内の老健で実習の受け入れを行いたい。
	身体の障がいに合わせて知的の方への対応ができる職人の誕生を期待しております。
	当事業団の採用活動としては退職者が出た時点で随時募集となるため定期的な積極採用ができないのが現状です。
	障害に対する理解のある方を希望します。
従来にはなかった音楽療法士やおもちゃインストラクターの資格取得に関しては大変興味があります。地域に貢献できる作業療法士の育成に期待します。	

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

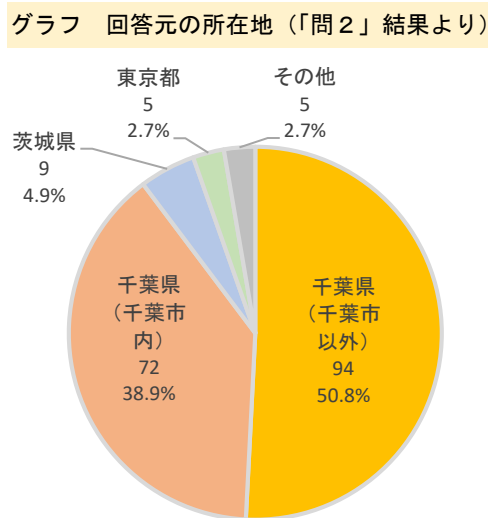
● 全回答のうち、「病院」が 40.5%、「老人保健施設」が 28.6%

回答元の業種を問う質問に対して、回答を得た 185 件のうち、「病院」が 75 件 (40.5%) と約 4 割であった。以降回答数の多い順に、「介護老人保健施設」53 件 (28.6%)、「特別養護老人ホーム」22 件 (11.9%)、「診療所・クリニック」12 件 (6.5%)、「生活介護施設」10 件 (5.4%)、「自立訓練施設」1 件 (0.5%)、「その他」12 件 (6.5%) となっており、作業療法士の職場となる主な業種からの回答を得た。



● 約 9 割が、千葉県内に所在する医療機関・施設

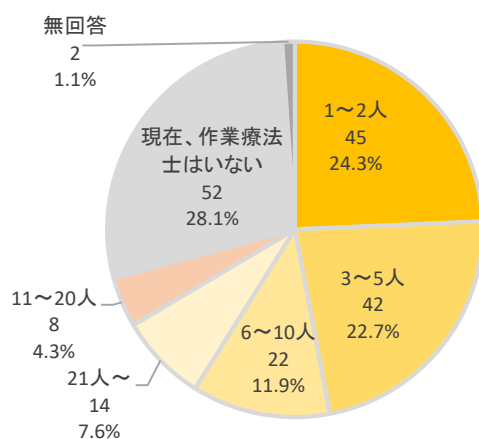
回答を得た 185 件中 94 件 (50.8%) が千葉県 (千葉市以外)、72 件 (38.9%) が千葉県 (千葉市内) であり、合計 166 件 (89.7%) が植草学園大学のキャンパスのある千葉県内に所在する医療機関・施設であった。



● 様々な作業療法士（常勤）の規模の医療機関・施設からの回答

作業療法士（常勤）の規模の質問には、回答元 185 件中、52 件（28.1%）の「現在、作業療法士はいない」が最も多かった。以降回答の多い順に「1～2 人」が 45 件（24.3%）、「3～5 人」が 42 件（22.7%）、「6～10 人」が 22 件（11.9%）、「21 人～」が 14 人（7.6%）、「11～20 人」が 8 件（4.3%）であった。

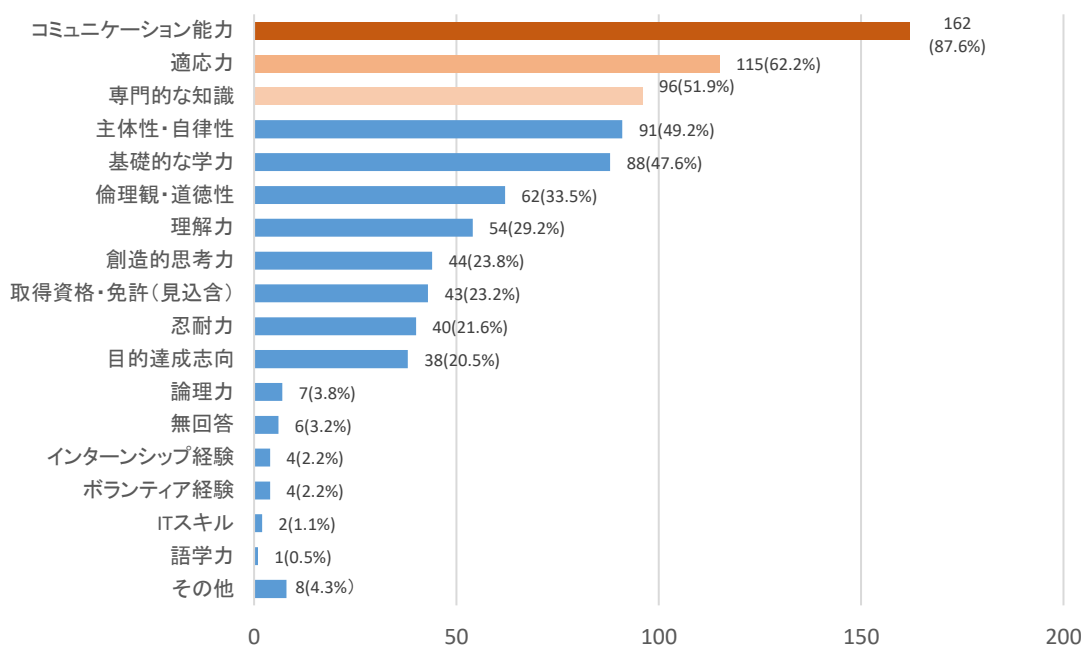
グラフ 回答元の従業員規模（「問3」結果より）



● 採用時には、「コミュニケーション能力」、「適応力」、「専門的な知識」を重視

作業療法士を採用する際に、重視する能力・体験として、大半の医療機関・施設が「コミュニケーション能力」と回答した（162 件、87.6%）。また他にも、半数以上が「適応力」（115 件、62.2%）、「専門的な知識」（96 件、51.9%）を選択しており、複数の能力や知識等を求める傾向が見られた（複数回答の結果）。

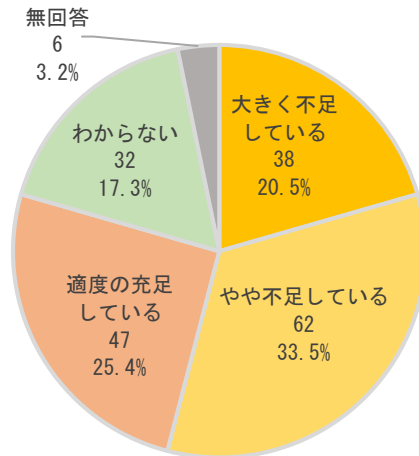
グラフ 採用する際に重視する能力・体験等（「問5」結果より）



● 5割以上の医療機関・施設で、作業療法士が不足

作業療法士の充足状況について質問したところ、回答元 185 件中、「大きく不足している」が 38 件 (20.5%)、「やや不足している」が 62 件 (33.5%) に上り、合計で 100 件 (54.0%) が不足していると回答した。

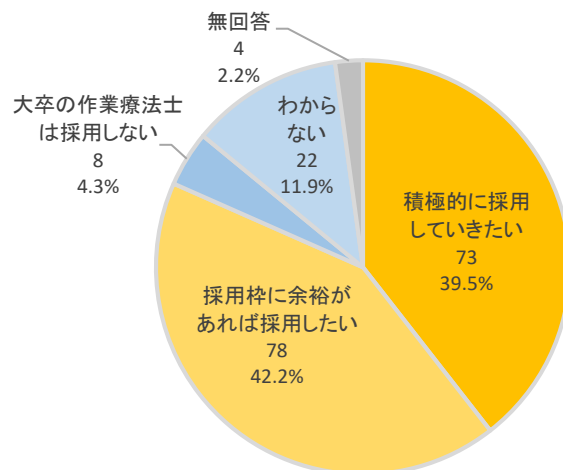
グラフ 作業療法士の充足状況 (「問6」結果より)



● 約8割が大卒の作業療法士を採用の方針

今後、大卒の作業療法士の採用方針について質問したところ、回答元 185 件中、「積極的に採用していきたい」が 73 件 (39.5%)、「採用枠に余裕があれば採用したい」が 78 件 (42.2%)、合計で 151 件 (81.7%) が採用する方針を示した。

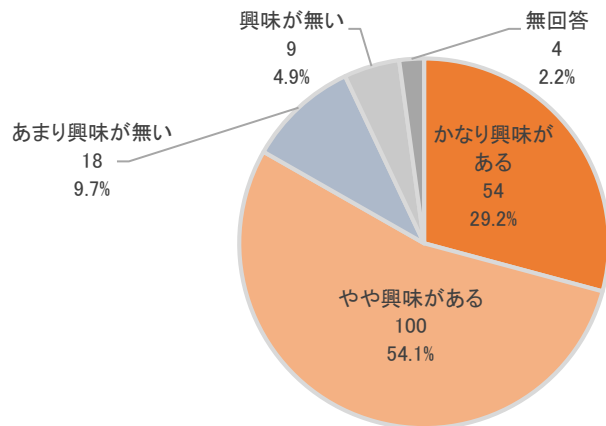
グラフ 大卒の作業療法士の採用方針 (「問7」より)



● 9割以上の医療機関・施設が養成する人材に興味を示す

植草学園大学が構想中の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」が養成する人材に対して、回答元 185 件中、54 件（29.2%）が「かなり興味がある」と回答した。「やや興味がある」と回答した 100 件（54.1%）と合計すると、154 件（83.3%）が興味を示した。また、「興味がない」と回答した医療機関・施設は 9 件（4.9%）であった。

グラフ 「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の養成する人材への興味（「問 8」の結果より）



● 6割以上の医療機関・施設が養成する人材に採用意欲を示す

植草学園大学の「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」の卒業生に対して、60 件（32.4%）が「採用したい」、63 件（34.1%）が「採用を検討したい」と回答し、合計で 6 割以上にあたる 123 件（66.5%）の医療機関・施設から採用意欲を示す結果を得た。また、「採用しない」と回答した医療機関・施設は 8 件（4.3%）であった。

業種別で見ると、「病院」では、「採用したい」33 件（17.8%）、「採用を検討したい」29 件（15.7%）であり、合計で 62 件（33.5%）と、最も高い採用意欲を示した。次に高い採用意欲を示したのは「老人健康保険施設」で、「採用したい」16 件（8.6%）、「採用を検討したい」20 件（10.8%）であり、合計で 36 件（19.5%）であった。

採用意欲を示した 123 件に採用可能人数を質問したところ、「採用したい」と回答した医療機関・施設が合計 60 件、109 名、「採用を検討したい」と回答した医療機関・施設は合計 63 件、71 名で、合計で 123 件、180 名が採用可能との結果が得られた。

グラフ 医療機関・施設の採用意向（「問 9」の結果より）

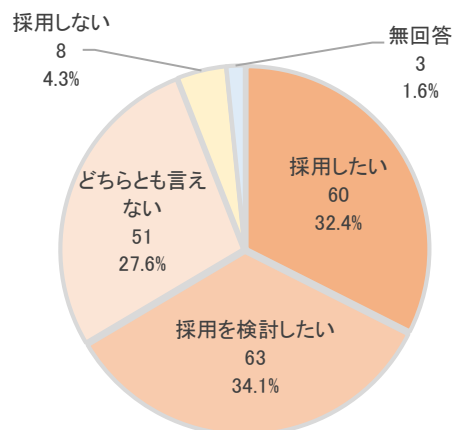


表 業種別採用意欲

業種	採用したい		採用を検討したい		どちらとも言えない		採用しない		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
病院	33	17.8%	29	15.7%	10	5.4%	2	1.1%	1	0.5%	75	40.5%
診療所・クリニック	3	1.6%	3	1.6%	2	1.1%	3	1.6%	1	0.5%	12	6.5%
介護老人保健施設	16	8.6%	20	10.8%	17	9.2%	0	0.0%	0	0.0%	53	28.6%
特別養護老人ホーム	5	2.7%	6	3.2%	10	5.4%	3	1.6%	1	0.5%	25	13.5%
生活介護施設	1	0.5%	1	0.5%	5	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	3.8%
自立訓練施設	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
その他	2	1.1%	4	2.2%	6	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	12	6.5%
合計	60	32.4%	63	34.1%	51	27.6%	8	4.3%	3	1.6%	185	100.0%

表 採用可能人数

選択項目	採用したい		採用を検討したい		回答数	合計人数
	回答数	合計人数	回答数	合計人数		
1名	16	16人	20	20人	36	36人
2名	10	20人	6	12人	16	32人
3名	10	30人	1	3人	11	33人
4名	0	0人	0	0人	0	0人
5名以上	5	25人	0	0人	0	25人
人数は未確定	18	18人	36	36人	54	54人
無回答	1	0人	0	0人	1	0人
合計	60	109人	63	71人	118	180人

※「人数は未確定」は1回答につき1人として集計した。

※「5名以上」は、最低である5名として集計。

以上の結果より、植草学園大学が平成32年4月に設置を構想している保健医療学部「リハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）」が養成する人材について、入学定員を大きく上回る採用意欲が示される結果を得た。したがって、就職にあたって問題なしと判断できる。

添付資料

「植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)
設置構想に係る採用意向アンケート調査」用紙

設置構想に係る採用意向アンケート調査

植草学園大学は、平成32（2020）年に、作業療法士の養成を行う「作業療法士学専攻（仮称）」の設置を構想しています。

本学ではこのアンケート調査を通して、将来新たな専攻の卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、このアンケートの回答は、設置構想にあたっての統計資料ならびに文部科学省への提出資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

以上の趣旨を踏まえ、何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は植草学園大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

貴機関・貴施設名

質問数：11問（所要時間は5～10分程度です）

問1 貴機関・貴施設の業種をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 病院
2. 診療所・クリニック
3. 介護老人保健施設
4. 特別養護老人ホーム
5. 生活介護施設
6. 自立訓練施設
7. その他（ ）

問2 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 千葉県（千葉市内）
2. 千葉県（千葉市以外）
3. 茨城県
4. 東京都
5. その他（ ）

問3 貴機関・貴施設に所属している作業療法士（常勤）の規模をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 1～2人
2. 3～5人
3. 6～10人
4. 11～20人
5. 21人～
6. 現在、作業療法士はいない

問4 貴機関・貴施設が過去1年間で採用した大卒の作業療法士の人数をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 1～2人
2. 3～5人
3. 6～10人
4. 11～20人
5. 21人～
6. 大卒の作業療法士は採用していない

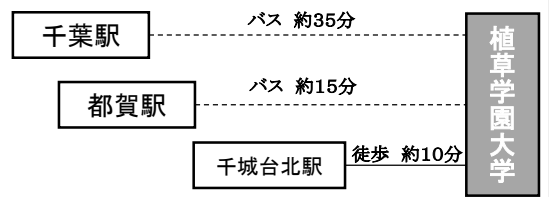
作業療法学専攻

(仮称・設置構想中)

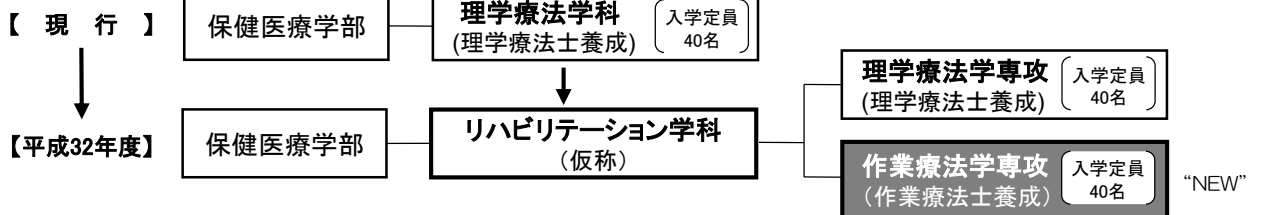
概要

開設時期：平成32(2020)年
開設場所：千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3
修業年限：4年
入学定員：40人
取得学位：学士(作業療法学)

アクセス



改組の内容



本学では、平成32(2020)年度より理学療法学科を、リハビリテーション学科(仮称)に改組します。リハビリテーション学科(仮称)は、理学療法学専攻と作業療法学専攻の2専攻となります。

【リハビリテーション学科(仮称)の特色】

理学療法学専攻、作業療法学専攻それぞれ共通の科目が多いため、お互いの職種の特徴を理解しながら、それぞれの専門性を深められるため、リハビリテーション医療におけるチーム医療の精神を学ぶことができる。さらに、最新のリハビリテーション工学(リハロボット等)を学ぶことができる。

作業療法学専攻(仮称)

入学定員 40名(予定)

《作業療法学専攻(仮称)では、以下のような人材を養成します》

専門性、人間性にすぐれ、主体的に問題解決にあたることのできる作業療法士

- ① 医療職としての倫理観をもち、判断し、行動する
- ② 多職種間で連携し、共通の目標に向かって協調して行動する
- ③ 地域包括ケアシステムに積極的に寄与する
- ④ 『生活行為向上マネジメント』を理解し、作業療法の臨床に使える

特色と資格

【作業療法学専攻(仮称)の特色】

- ① 実務経験豊富な教員を配置するため、安心して授業や実習指導を受けられる。
- ② 病院や施設などへの実習前には、学内で実技試験を行うため、自信をもって実習に参加できる。
- ③ これまでの、患者を正しく治療するための評価や治療に加え、アートとしての音楽・ダンスやおもちゃに関連した評価法や治療法を学べる。

【取得できる資格】

- ① 作業療法士(国家試験受験資格)
- ② 音楽療法士(全国音楽療法士養成協議会認定資格)
- ③ おもちゃインストラクター(芸術と遊び創造協会認定資格)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

問5 貴機関・貴施設において、大学の作業療法士を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。
(特にあてはまるもの5つまでを、枠内に記入)

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 基礎的な学力 | 3. 専門的な知識 |
| 4. 語学力 | 5. 創造的思考力 | 6. 主体性・自律性 |
| 7. 目的達成志向 | 8. 適応力 | 9. インターンシップ経験 |
| 10. ボランティア経験 | 11. 忍耐力 | 12. 理解力 |
| 13. 論理力 | 14. 取得資格・免許(見込含) | 15. ITスキル |
| 16. 倫理観・道徳性 | 17. その他() | |

番号を記入					
-------	--	--	--	--	--

問6 貴機関・貴施設における、作業療法士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 大きく不足している
2. やや不足している
3. 適度に充足している
4. 過剰である
5. わからない

問7 貴機関・貴施設における、大卒の作業療法士の今後の採用方針についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に採用していきたい
2. 採用枠に余裕があれば採用したい
3. 大卒の作業療法士は採用しない
4. わからない

問8以降は、2ページ「作業療法学専攻(仮称)の概要」をご覧の上でお答えください。

問8 植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻(仮称)が養成する人材に対して、どれくらい興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. かなり興味がある
2. やや興味がある
3. あまり興味がない
4. 興味がない

問9

植草学園大学が構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）を卒業する学生を、将来作業療法士として採用したいと思いませんか。（あてはまるもの1つに○）

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. どちらとも言えない
4. 採用しない

問10

問9で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した方は、採用可能であると思われる人数をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 1名
2. 2名
3. 3名
4. 4名
5. 5名以上
6. 人数は未確定

問11

植草学園大学および構想中のリハビリテーション学科作業療法学専攻（仮称）に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。